

2. 水道事業

I 水道事業の沿革

1. 沿 業 革

2. 事 業 の 概 要

- (1) 茨田上水道組合
- (2) 門真市
- (3) 第5次水道施設等整備事業の進捗状況

3. 業 務 量

- (1) 業務量の推移
- (2) 年間総配水量及び給水人口の推移(図表)
- (3) 年間総配水量、年間総有収水量及び有収率の推移(図表)

1. 沿 革

本市は大阪府の北東部に位置し、東西に 4.9 km、南北に 4.3 km、面積 12.30 km²で、大阪市、守口市、寝屋川市及び大東市に隣接しており、東には飯盛、生駒連峰を眺め、北方約 2 kmには琵琶湖に源を発する淀川が流れている。

古来より、現在の門真市を中心とする一帯は河内平野の低湿地帯にあり、良質の飲料水に乏しく地下水もそのままでは全く飲用に適さないため、住民の半数は井戸水を簡易ろ過して飲み水に使用している状態であり、保健衛生面からも上水道の布設が強く要望された。

そこで、上水道施設のない2町5村は、昭和 17 年4月に茨田上水道組合を創設し、昭和 18 年3月に上水道布設工事の認可を受けたが、同年8月に太平洋戦争の激化によりやむなく一時中断せざるを得なかった。

戦後、昭和 23 年4月、大阪府営水道が再発足したのを契機に、水源を大阪府営水道に求め、昭和 24 年4月に、一時中断していた上水道布設事業の再認可を受け、昭和 28 年、給水区域全般に待望の給水を開始した。これが本市水道の起源である。

その後、大阪府営水道の発展と相まって茨田上水道組合は、人口急増による水需要の増加に対応するため、第1次・第2次の拡張事業を施工し、門真市の全域、守口市の旧庭窪地区、寝屋川市の旧九箇荘地区に給水していたが、高度経済成長政策による産業と大都市への人口集中による影響により、立地条件の良い3市はさらに産業都市として著しい発展を続け、これに必要な水道施設の増強を強く要望されたこともあって、昭和 40 年3月、各市の発展に順応した一元的水道事業として整備拡充するため、水道施設を門真市、守口市、寝屋川市で分割継承することにより発展的に解散された。この解散に伴い、門真市全域の水道施設と組合当時に既認可された残事業を継承して、昭和 40 年4月、市単独の上水道事業である門真市水道事業が誕生し、急激に発展してゆく都市に必要な水需要に即応させながら公衆衛生の向上を図るため、目標年次を昭和 50 年と定め、計画給水人口 151,130 人、計画1日最大給水量 61,960 m³で第 1 次拡張事業に着手した。

その後、主要地方道大阪中央環状線を始めとする道路網の整備等により住宅建設が一層進み、昭和 40 年に 92,000 人の人口が、45 年には 139,000 人と 1.51 倍にも急増するとともに、市勢の発展や生活様式の向上に伴う水需要の増加が激しく、給水能力に不足を生じる事態となった。

また一方では、琵琶湖や淀川の水質汚濁の進行等により処理限界となった緩速ろ過池での浄水処理を、急速ろ過方式に変更する必要が生じたため、昭和 45 年3月、浄水方法の変更と水道施設の集中管理化をあわせた認可変更を得て、同年4月より第 1 次拡張変更事業を着手し、より安全で豊富な水を市民に提供するため、各施設の有機的結合と市内配水の効率化に努めた。

しかし、昭和 40 年代後半から人口の伸びは鈍化の傾向を示すと共に、水需要の増加は安定し、水道事業においても、集中的な設備投資に追われ拡張につぐ拡張といった需要追随型のいわゆる建設の時代から施設の質的レベルの向上を目指す維持管理の時代へと移行したため、より安定した給水体制を確立し、赤水の発生や出水不良地区を根絶する配水管網の整備を中心とした長期的な整備計画が急務となり、昭和 52 年4月から水道施設等整備事業に着手し、第1次拡張変更事業を昭和 53 年 3 月で完了した。

その後、維持管理時代にふさわしい「蛇口までの安定給水」と「有収率の向上」を目標に、破損事故の多

い石綿配水管の布設替工事や管路閉塞の原因となる古い鑄鉄管のライニング工事、赤水や出水不良地区の給水管を整理統合する給水管改良工事、量水器前後より漏水を未然に防止する伸縮止水栓取付工事、地下漏水の早期発見を目的とした漏水調査等、きめ細かい給配水管の整備を実施すると共に、維持管理の基礎資料である管理図面の整備として、昭和 59 年度に配管管理図の作成を完了し、昭和 60 年度から給水戸番図の作成に取り組んでいる。また、需要者に対し常時安全かつ清浄な水の供給を行うため、水質検査設備の充実と強化を図ると共に、より効果的な水道事業の運営を図るため、集金制による水道料金の徴収方法を廃止し、昭和 60 年 11 月分から全戸納付制に切り替えた。

本市は自己水源がなく全量を大阪府営水道に依存しており、泉町浄水場及び上馬伏配水場の2ヶ所で受水しているが、どちらかで事故が発生すると、市域の半分が減圧もしくは断水といった事態となるため、安全対策として、昭和 54 年9月に上馬伏配水場の受水系統を4拡分岐から6拡分岐に切り替え、昭和 55 年1月から浄・配水場を相互連絡する幹線配水管布設工事に着手し水源の安全確保に努めた。

昭和 57 年度から人口が増加傾向となり、昭和 60 年に将来の水需要の推移を勘案すると、既認可では水不足となるため、第1次水道施設等整備事業を昭和 61 年3月で打切り、同3月 19 日付けで事業認可を得て、昭和 61 年4月から目標年次を平成7年、計画給水人口 151,130 人、計画1日最大給水量 72,000 m³の第2次水道拡張事業に着手した。

昭和 63 年から平成3年までに、給水モニタリング装置を計6局設置して、水質監視体制の強化を図り、総合的な配水コントロールシステムの確立と将来の安定給水の確保を目指して施工した。

災害にも応急使用できる幹線配水管として、平成元年から6ヵ年計画で、泉町浄水場と上馬伏配水場を結ぶ鑄鉄管口径 600mm、延長 1,742.34mを布設、さらに将来の水需要の増加と災害に強い水道施設として、平成4年に上馬伏配水場に新ポンプ棟の建設、それに伴うポンプ設備、自家発電設備、次亜塩生成装置及び電気計装設備工事を順次施工した。

水需要や人口の伸びの減少により、第2次拡張変更事業の規模を変更せずに移行した第2次水道施設等整備事業に平成8年4月から着手して、大阪市営地下鉄(現大阪市高速電気軌道株式会社(通称:大阪メトロ))の長堀鶴見緑地線門真南駅を中心として周辺開発の整備及び三ツ島地区の区画整理事業等による南部地域における水需要の増加に順応した効率的な投資として、新規配水管の布設や、災害に備えて最低限の生活用水を確保するために緊急遮断弁の設置、浄・配水場の配水池耐震補強工事など、老朽化した施設の更新・改修、並びに老朽管の耐震管への更新及び受水管路整備等により、安定給水と、より震災に強いライフラインの確保を目指して施工した。

平成 15 年度からは、第二京阪道路の建設に伴う配水管網整備工事、老朽管布設替工事及び浄・配水場施設整備工事等を主体に、「安全でより良質な水の供給と災害時にも強い施設づくり」のため、第3次水道施設等整備事業に着手した。

平成 19 年度には、安全・快適な水の供給や、災害時にも安定的に給水を行うための施設水準の向上等に向けた「門真市水道ビジョン」、「中期水道施設整備計画」を策定するとともに、その基礎となる運営基盤の強化や技術力の確保のため「財政計画と中期経営計画」を定め、平成 30 年度を目標に、「門真市水道事業基本計画」として策定した。

平成 22 年度からは、平成 28 年度までを目標に、老朽管の耐震化工事、災害時に避難所となる公共施

設や病院等の重要施設の生活用水が確保できるよう重点的に整備を行うため、第4次水道施設等整備事業に着手している。

平成 23 年4月から、本市を含む府内 42 市町村で組織する大阪広域水道企業団が発足し、これまで大阪府営水道が行ってきた用水供給事業と工業用水道事業を共同して経営することとなった。

平成 29 年3月には、人口減少による給水収益の減収、水道施設の老朽化、東日本大震災の発生など、水道事業を取り巻く環境が大きく変化したことから、「持続・安全・強靱」という3つの観点を柱に、平成 20 年3月に策定した「門真市水道ビジョン」を改定し、新たに「門真市水道事業ビジョン」を策定した。

また、平成 29 年度から公共下水道事業に地方公営企業法を適用し、門真市水道事業と門真市公共下水道事業の組織統合を行った。上下水道事業の連携強化によるお客さまサービスの向上など、組織統合によるスケールメリットを活かし、より効率的で効果的な事業運営を行っている。

平成 29 年 10 月には、上馬伏配水場の運転制御装置の部品の故障により、圧力自動制御装置に不具合が生じ、一時的に上馬伏配水場から市内への配水圧力が低下した。また、配水圧力の復旧に伴い濁水(赤水)が発生した。

施設が老朽化している現在、今後も同様の事故や管路破損事故等が発生する危険性があり、今回のような突発的な事故を未然に防ぐため、施設の更なる効果的な維持管理方法を検討するとともに、門真市水道事業ビジョンに基づき、老朽化施設の更新及び施設の耐震化に取り組んでいく。

平成 30 年8月には、門真市水道事業ビジョンに基づく施設の耐震化計画の一つとして、上馬伏配水場4号配水池築造工事を施工した。

令和4年3月には、平成 29 年に策定した水道事業ビジョンの中間見直しを行い、「門真市水道事業ビジョン(改定版)」を策定した。

2. 事業の概要

(1) 茨田上水道組合

① 水道敷設事業

認可年月日(認可番号)	昭和 24 年 4 月 8 日	(厚生省阪衛第66号)
工 期	(起工) 昭和 24 年 4 月	(竣工) 昭和 28 年 3 月
(基本計画) (認可)	計 画 給 水 人 口	27,760 人
	1 日 最 大 給 水 量	4,165 m ³ /日
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	150 ℓ
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	200 ℓ
水 源	(新規) 府営水道 沈でん水	43,000 m ³ /日 (府1抃)
給 水 区 域	門真町、茨田町、庭窪村、九箇荘村、大和田村、四宮村、二島村	
主 要 設 備	受水池	RC 347m ³ 1池
	緩速ろ過池	2池
	急速ろ過機	2基
	浄水池	RC 500m ³ 1池
	ポンプ給水池	1池
	塩素滅菌機	2基
	配水ポンプ	5台
	配水管布設工事	鑄鉄管 5,277m 石綿管 42,388m
事 業 費 (認 可)	170,000	千円

② 第1次拡張事業

認可年月日(認可番号)	昭和 33 年 2 月 25 日	(厚生省阪衛第126号)
工 期	(起工) 昭和 34 年 1 月	(竣工) 昭和 37 年 3 月
(基本計画) (認可)	計 画 給 水 人 口	46,500 人
	1 日 最 大 給 水 量	11,600 m ³ /日
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	250 ℓ
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	350 ℓ
水 源	(新規) 府営水道 浄水	7,300 m ³ /日 (府1抃)
	(既存) 府営水道 沈でん水	43,000 m ³ /日 (府1抃)
給 水 区 域	門真町、守口市の旧庭窪町、寝屋川市の旧九箇荘村	
主 要 設 備	塩素滅菌機	2基
	配水管布設工事	鑄鉄管 19,970m 石綿管 12,280m
	事 業 費 (認 可)	110,000

③第2次拡張事業

認 可 年 月 日	昭和 36 年 12 月 28 日			
工 期	(起工)	昭和 37 年 4月	(竣工)	昭和 40 年 3 月
(基本計画) 認可計画	計 画 給 水 人 口	96,700	人	
	1 日 最 大 給 水 量	29,030	m ³ /日	
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	300	ℓ	
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	450	ℓ	
水 源	新 規	府 営 水 道	浄 水	13,430 m ³ /日 (府4抃)
		大 阪 市 営 水 道	浄 水	4,000 m ³ /日
	既 存	府 営 水 道	沈 で ん 水	4,300 m ³ /日
			浄 水	7,300 m ³ /日
給 水 区 域	門真町、守口市の旧庭窪町、寝屋川市の旧九箇荘村			
主 要 設 備	導水管	φ 600mm	690m	
	上馬伏配水場用地			
	配水管布設工事	鑄鉄管	20,599m	
事 業 費 (認 可)	274,000		千円	

(2)門 真 市

①第1次水道拡張事業

認可年月日(認可番号)		昭和 39 年 12 月 21 日		(厚生省収環第516号)	
工 期		(起工)	昭和 40 年 4 月	(竣工)	昭和 46 年 3 月
(基本計画認可)	計 画 給 水 人 口	151,130		人	
	1 日 最 大 給 水 量	61,690		m ³ /日	
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	410		ℓ	
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	615		ℓ	
水 源	新規	府営水道	沈でん水	3,000	m ³ /日
			浄水	44,050	m ³ /日
	既存	茨田上水道組合より継承			
		府営水道	沈でん水	4,300	m ³ /日
			浄水	10,610	m ³ /日
給 水 区 域		門真市全域			
(施工区分)		(事業量)		(事業費)	
1. 泉町浄水場施設	配水池築造(PC 2,300m ³)		2池	35,065 千円	
	ポンプ室・薬注室築造		各1棟	10,708 千円	
	配水ポンプ設備(75kw)		3台	8,283 千円	
	受電設備・薬品注入設備・計装設備		各1式	23,642 千円	
	場内配管(φ75~600mm)		611m	18,455 千円	
	整地及び雑工事		1式	258 千円	
2. 上馬伏配水場施設	配水池築造(PC 3,300m ³)		2池	61,289 千円	
	配水ポンプ設備(150kw)		2台	26,430 千円	
	場内配管(φ300~600mm)		151m	12,674 千円	
3. 上馬伏配水場施設 (茨田より継承分)	配水池築造(RC 3,400m ³)		1池	27,595 千円	
	ポンプ室・薬注室築造		各1棟	13,347 千円	
	配水ポンプ設備(45kw×1台、95kw×2台)			15,033 千円	
	受電設備・薬品注入設備・計装設備		各1式	13,876 千円	
	場内配管(φ400~700mm)			15,600 千円	
	整地及び雑工事		1式	4,615 千円	
4. 配水管布設工事	鋳鉄管(φ75~500mm)		32,164m	305,814 千円	
	(内訳)				
	鋳鉄管 φ 75mm	263m	2,944 千円		
	鋳鉄管 φ 100mm	1,585m	9,572 千円		
	鋳鉄管 φ 150mm	5,329m	34,033 千円		
	鋳鉄管 φ 200mm	9,292m	81,722 千円		
	鋳鉄管 φ 250mm	2,447m	24,068 千円		
	鋳鉄管 φ 300mm	8,200m	91,136 千円		
	鋳鉄管 φ 350mm	4,046m	45,726 千円		
	鋳鉄管 φ 400mm	396m	5,120 千円		
鋳鉄管 φ 500mm	606m	11,493 千円			

総事業費	工事費合計	592,684	千円
	事務費	41,622	千円
	消火栓	8,037	千円
	合計	642,343	千円
自己資金		51,343	千円
起債額		591,000	千円

②第1次水道拡張変更事業

認可年月日(認可番号)		昭和 45 年 3 月 5 日		(厚生省環第129号)	
工 期		(起工)	昭和 45 年 4 月	(竣工)	昭和 53 年 3 月
(基本計画認可)	計 画 給 水 人 口	151,130		人	
	1 日 最 大 給 水 量	61,960		m ³ /日	
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	410		ℓ	
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	790		ℓ	
水 源	既 存	府 営 水 道	沈 で ん 水	7,300	m ³ /日
			浄 水	54,660	m ³ /日
給 水 区 域	門 真 市 全 域				
(施工区分)		(事業量)		(事業費)	
1 . 浄 水 施 設	急速ろ過池築造(5,000m ³)		3池	65,761 千円	
	同上計装設備		1式	14,751 千円	
	浄水池築造(RC 3,400m ³)		1池	119,934 千円	
	管理棟築造		1式	226,130 千円	
	集中管理計装		1式	259,030 千円	
	場内配管(φ100~700mm)		1,037m	48,124 千円	
2 . 配 水 設 備	塩素滅菌設備		1式	7,800 千円	
	配水ポンプ設備(150kw)		1台	11,800 千円	
	整地及び雑工事		1式	35,254 千円	
	配水用量水器		1式	5,000 千円	
3 . 配 水 管 布 設 工 事	鑄鉄管(φ100~400mm)		51,338m	936,650 千円	
	(内訳)				
	鑄鉄管 φ100mm		7,737m	128,541 千円	
	鑄鉄管 φ150mm		20,442m	335,509 千円	
	鑄鉄管 φ200mm		18,046m	331,202 千円	
	鑄鉄管 φ250mm		3,179m	85,654 千円	
	鑄鉄管 φ300mm		975m	25,598 千円	
鑄鉄管 φ400mm		959m	30,146 千円		
総 事 業 費	工 事 費 合 計		1,730,234		千円
	事 務 費		165,305		千円
	消 火 栓		24,524		千円
	合 計		1,920,063		千円
自 己 資 金	155,063		千円		
起 債 額	1,765,000		千円		

③第1次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-		
工期		(起工) 昭和 52 年 4月	(竣工) 昭和 61 年 3月	
(基本計画認可)	計画給水人口	-	人	
	1日最大給水量	-	m ³ /日	
	1人1日最大給水量	-	ℓ	
	1人1日時間最大給水量	-	ℓ	
水源	既存 府営水道	沈でん水 7,300 m ³ /日 浄水 54,660 m ³ /日		
給水区域	門真市全域			
(施工区分)		(事業量)	(事業費)	
1. 配水管布設工事	石綿管布設替	鑄鉄管 φ100mm	2,552m	81,930 千円
		鑄鉄管 φ150mm	3,065m	125,531 千円
		鑄鉄管 φ200mm	2,958m	140,988 千円
		鑄鉄管 φ250mm	35m	1,714 千円
		小計 (φ100~250mm)	8,610m	350,163 千円
	新規布設工事	鑄鉄管 φ100mm	1,814m	57,276 千円
		鑄鉄管 φ150mm	3,710m	114,334 千円
		鑄鉄管 φ200mm	4,787m	179,579 千円
		鑄鉄管 φ250mm	2,554m	140,451 千円
		鑄鉄管・鋼管 φ300mm	801m	35,494 千円
		鑄鉄管 φ400mm	25m	11,860 千円
		鑄鉄管 φ600mm	72m	54,749 千円
	小計 (φ100~600mm)	13,763m	593,743 千円	
	幹線布設	鑄鉄管 φ400mm	72m	13,673 千円
鑄鉄管・鋼管 φ300mm		117m	115,725 千円	
鑄鉄管 φ600mm		4,540m	693,978 千円	
小計 (φ300~600mm)		4,729m	823,376 千円	
2. ポンプ設備	ポンプ設備(150kw)	1台	46,600 千円	
総事業費	工事費合計		1,813,882 千円	
	用地費		6,515 千円	
	事務費		253,165 千円	
	消火栓		21,387 千円	
	合計		2,094,949 千円	
自己資金	179,949 千円			
起債額	1,915,000 千円			

④第2次水道拡張事業

認可年月日(認可番号)		昭和 61 年 3 月 19 日		(厚生省生環第169号)		
工 期		(起工) 昭和 61 年 4 月		(竣工) 平成 8 年 3 月		
(基本計画認可)	計画給水人口	151,130		人		
	1日最大給水量	72,000		m ³ /日		
	1人1日最大給水量	476		ℓ		
	1人1日時間最大給水量	858		ℓ		
水 源	新規	府営水道 沈でん水	4,450	m ³ /日		
		(府7拡) 浄水	5,590	m ³ /日		
	既存	府営水道 沈でん水	7,300	m ³ /日		
		浄水	54,660	m ³ /日		
給 水 区 域		門真市全域				
(施工区分)		(事業量)		(事業費)		
配 水 施 設	ポンプ棟拡張工事 1棟		353,671		千円	
	ポンプ設備工事(機械設備・電気設備) 1式		607,185		千円	
	消毒設備工事 1式		76,735		千円	
	場内配管 237m		229,236		千円	
	給水モニター設備 6局		137,530		千円	
	受変電設備工事 1式		62,830		千円	
	幹線配水管計装工事 1式		47,125		千円	
	老朽管布設替工事(φ100~200mm) 1,616m		97,710		千円	
	配水管布設工事	鋳鉄管 φ100mm	173m	6,924		千円
		鋳鉄管 φ150mm	3,001m	176,511		千円
		鋳鉄管 φ200mm	3,919m	207,448		千円
		鋳鉄管 φ250mm	284m	20,622		千円
		鋳鉄管 φ300mm	1,310m	147,472		千円
鋳鉄管 φ350mm		26m	8,042		千円	
幹線配水管φ500mm~600mm		1,917m	793,662		千円	
小 計 (φ100~600mm)		10,630m	1,360,681		千円	
総 事 業 費	工 事 費 合 計		2,972,703	千円		
	設 計 ・ 監 督 費		20,497	千円		
	門 ・ 柵 ・ へい		3,025	千円		
	事 務 費		270,667	千円		
	消 火 栓		13,106	千円		
	合 計		3,279,998	千円		
自 己 資 金		198,098	千円			
起 債 額		3,081,900	千円			

⑤第2次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-		
工 期		(起工) 平成 8 年 4 月	(竣工) 平成 15 年 3 月	
(基本計画認可)	計画給水人口	-	人	
	1日最大給水量	-	m ³ /日	
	1人1日最大給水量	-	ℓ	
	1人1日時間最大給水量	-	ℓ	
水 源		府営水道(庭窪系) 浄水(泉町浄水場) 24,000 m ³ /日 府営水道(村野系) 浄水(上馬伏配水場) 48,000 m ³ /日 計 72,000 m ³ /日		
給 水 区 域		門真市全域		
(施工区分)		(事業量)	(事業費)	
配 水 施 設		ポンプ設備(機械設備) 1式	184,800 千円	
		電気設備(自家発電) 1式	26,385 千円	
		配水池耐震補強工事 1池	191,677 千円	
		場内配管(φ200~600mm) 416m	270,428 千円	
		給水モニター設備工事 1局	36,750 千円	
		水道庁舎改修工事 1式	176,130 千円	
		緊急遮断弁取付工事 1台	31,673 千円	
		老朽管更新(φ100~200mm) 135m	26,937 千円	
		配水管布設工事	鋳鉄管 φ100mm 302m	7,328 千円
			鋳鉄管 φ150mm 1,229m	154,401 千円
			鋳鉄管 φ200mm 1,738m	247,442 千円
			鋳鉄管 φ250mm 101m	24,649 千円
			鋳鉄管 φ300mm 2,534m	299,433 千円
鋳鉄管 φ350mm 74m	21,675 千円			
仕切弁 φ500mm 3台	86,184 千円			
小 計		5,978m	841,112 千円	
総 事 業 費		工 事 費 合 計	1,785,892 千円	
		設 計・監 督 費	9,187 千円	
		委 託 料	15,597 千円	
		事 務 費	146,019 千円	
		消 火 栓	12,888 千円	
		合 計	1,969,583 千円	
自 己 資 金		155,583	千円	
起 債 額		1,814,000	千円	

※(沈でん水)平成10年3月廃止に伴い浄水に変更する。

⑥第3次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-		
工 期		(起工) 平成 15 年 4月	(竣工) 平成 22 年 3月	
(基本計画認可)	計 画 給 水 人 口	-	人	
	1 日 最 大 給 水 量	-	m ³ /日	
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	-	ℓ	
	1 人 1 日 時 間 最 大 給 水 量	-	ℓ	
水 源		府営水道(庭窪系) 浄水(泉町浄水場) 24,000 m ³ /日 府営水道(村野系) 浄水(上馬伏配水場) 48,000 m ³ /日 計 72,000 m ³ /日		
給 水 区 域		門真市全域		
(施工区分)		(事業量)	(事業費)	
配 水 施 設		電気計装工事 1式	34,262 千円	
		データロガー装置更新工事 1式	23,625 千円	
		次亜塩注入装置更新工事 1式	10,500 千円	
		緊急遮断弁取付工事 1台	30,054 千円	
		場内配管(泉町 φ400mm) 30m	14,983 千円	
		場内配管(上馬伏 φ150~1,000mm) 483m	122,385 千円	
		配水管布設工事	鑄鉄管 φ100mm 364m	46,273 千円
			鑄鉄管 φ150mm 1,898m	241,438 千円
			鑄鉄管 φ200mm 7,207m	548,256 千円
			鑄鉄管 φ250mm 687m	100,748 千円
			鑄鉄管 φ300mm 7,351m	771,032 千円
			鑄鉄管 φ350mm 174m	47,190 千円
			鑄鉄管 φ400mm 855m	190,225 千円
小 計	14,297m	1,945,162 千円		
総 事 業 費		工 事 費 合 計	2,180,971 千円	
		委 託 料	45,363 千円	
		事 務 費	210,020 千円	
		消 火 栓	84,556 千円	
		合 計	2,520,910 千円	
自 己 資 金		247,910	千円	
起 債 額		2,273,000	千円	

⑦第4次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-			
工 期		(起工) 平成 22 年 4月	(竣工) 平成 29 年 3 月		
(基本計画認可)	計画給水人口	-	人		
	1日最大給水量	-	m ³ /日		
	1人1日最大給水量	-	ℓ		
	1人1日時間最大給水量	-	ℓ		
水 源		府営水道(庭窪系) 浄水(泉町浄水場)	24,000 m ³ /日		
		府営水道(村野系) 浄水(上馬伏配水場)	48,000 m ³ /日		
		計 72,000 m ³ /日			
給 水 区 域		門真市全域			
(施工区分)		(事業量)	(事業費)		
配 水 施 設		八尾・枚方線配水管布設替工事	1,416 m	229,921 千円	
		配水管布設工事	鋳鉄管 φ75mm	一式	381,749 千円
			鋳鉄管 φ100mm		
			鋳鉄管 φ150mm		
			鋳鉄管 φ200mm		
			鋳鉄管 φ250mm		
			鋳鉄管 φ300mm		
			鋳鉄管 φ350mm		
			鋳鉄管 φ400mm		
小 計					
計 画 事 業 費		工 事 費 合 計	611,670	千円	
		分 担 金	5,423	千円	
		事 務 費	209,065	千円	
		消 火 栓	8,939	千円	
		合 計	835,097	千円	
自 己 資 金		375,097	千円		
起 債 額		460,000	千円		

※平成23年4月府営水道は大阪広域水道企業団に承継した。

⑧第5次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-	
工 期		(起工) 平成 29 年 4月	(竣工) 令和 4 年 3 月
(基本計画認可)	計画給水人口	-	人
	1日最大給水量	-	m ³ /日
	1人1日最大給水量	-	ℓ
	1人1日時間最大給水量	-	ℓ
水 源		企業団営水道(庭窪系) 浄水(泉町浄水場) 24,000 m ³ /日	企業団営水道(村野系) 浄水(上馬伏配水場) 48,000 m ³ /日
		計 72,000 m ³ /日	
給 水 区 域		門真市全域	
(施工区分)		計画事業量	計画事業費(税込)
配 水 施 設		泉町浄水場更新事業(第1期分)	225,000 千円
		上馬伏配水場4号配水池新設	525,080 千円
		上馬伏配水場場内配管耐震化	195,000 千円
		上馬伏配水場受変電設備更新	250,000 千円
		上馬伏配水場次亜塩素酸生成装置更新	20,000 千円
		電動弁設備維持管理費	5,000 千円
		老朽化配水管更新工事	2,295,767 千円
計 画 事 業 費		工 事 費 合 計	3,515,847 千円
		委 託 料	77,172 千円
		事 務 費	224,997 千円
		材 料 費	1,280 千円
		合 計	3,819,296 千円
自 己 資 金		2,282,118	千円
負 担 金		516,398	千円
国 庫 補 助 金		99,030	千円
起 債 額		921,750	千円

⑨第6次水道施設等整備事業

認可年月日(認可番号)		-	
工 期		(起工) 令和 4 年 4月	(竣工) 令和 9 年 3月
(基本計画認可)	計画給水人口	-	人
	1日最大給水量	-	m ³ /日
	1人1日最大給水量	-	ℓ
	1人1日時間最大給水量	-	ℓ
水 源		府営水道(庭窪系)浄水(泉町浄水場)	24,000 m ³ /日
		府営水道(村野系)浄水(上馬伏配水場)	48,000 m ³ /日
		計	72,000 m ³ /日
給 水 区 域		門真市全域	
(施工区分)		計画事業量	計画事業費(税込)
配 水 施 設	泉町浄水場更新事業(第2期分)		3,182,357 千円
	上馬伏配水場更新事業		1,294,986 千円
	電動弁設備維持管理費		15,000 千円
	老朽化配水管更新工事		2,202,000 千円
計 画 事 業 費	工事費合計(撤去費込み)		6,694,343 千円
	事 務 費		361,565 千円
	材 料 費		20 千円
	合 計		7,055,928 千円
自 己 資 金		4,216,728	千円
負 担 金		160,500	千円
起 債 額		2,678,700	千円

(3)第6次水道施設等整備事業の進捗状況

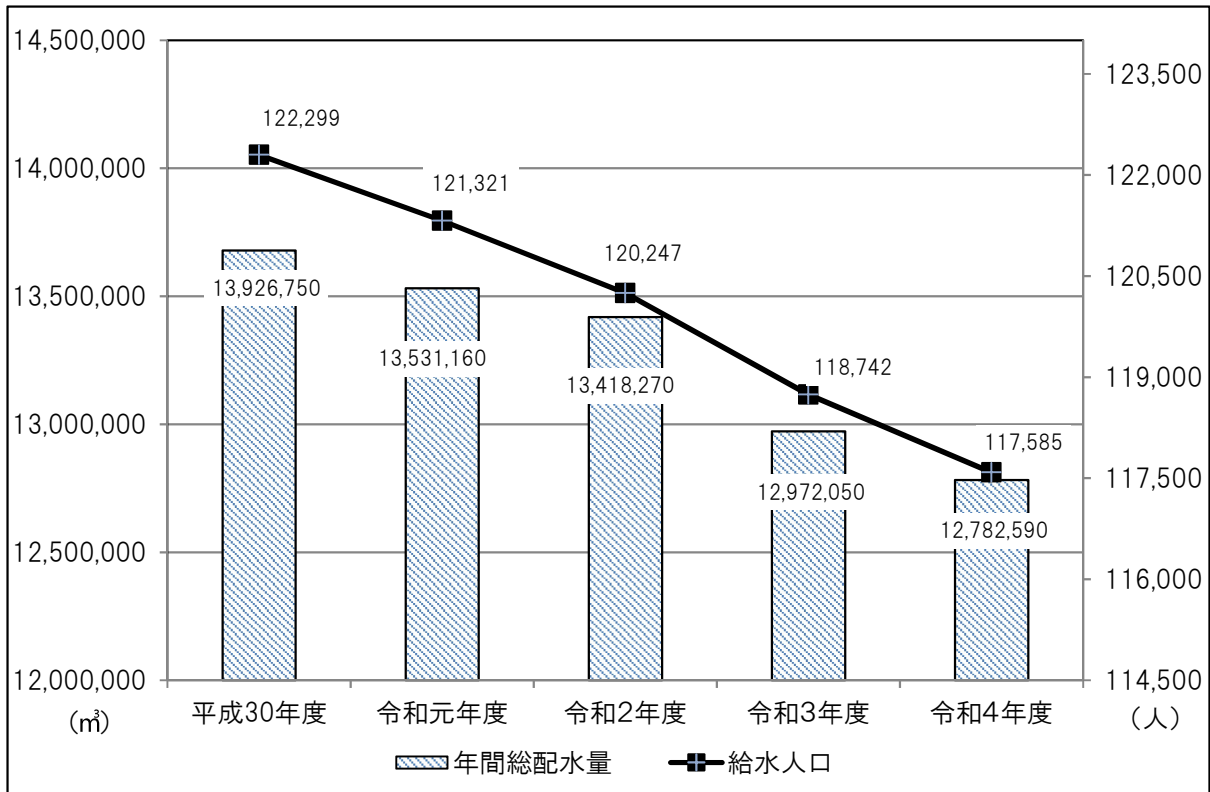
事業名		第6次水道施設等整備事業				
		全体計画		令和4年度		
主要事業 年次別事業量	施行区分	事業量	事業費	事業量	事業費	
	泉町浄水場更新事業(第2期)	1式	3,182,357	1式	284,995	
	上馬伏配水場更新事業	1式	1,294,986			
	電動弁設備維持管理費	1式	15,000			
	場内施設改良工事	-	-	1式	11,539	
	配水管 布設工事	鋳鉄管 φ75mm	1式	2,202,000	86m	9,393
		鋳鉄管 φ100mm			204m	21,644
		鋳鉄管 φ150mm			374m	92,756
		鋳鉄管 φ200mm			101m	34,422
		鋳鉄管 φ250mm			852m	253,317
		鋳鉄管 φ300mm			1m	231
鋳鉄管 φ350mm		17m			9,840	
鋳鉄管 φ400mm		206m			154,932	
仕切弁等		1式			69,373	
小計			1841m	645,908		
工事費合計		6,694,343		942,442		
分担金		0		0		
委託料		0		5,097		
事務費		361,565		70,862		
材料費		20		0		
消火栓		0		19,684		
合計		7,055,928		1,038,085		
自己資金		4,216,728		777,381		
負担金		160,500		152,004		
補助金		0		0		
起債額		2,678,700		108,700		

3. 業務量

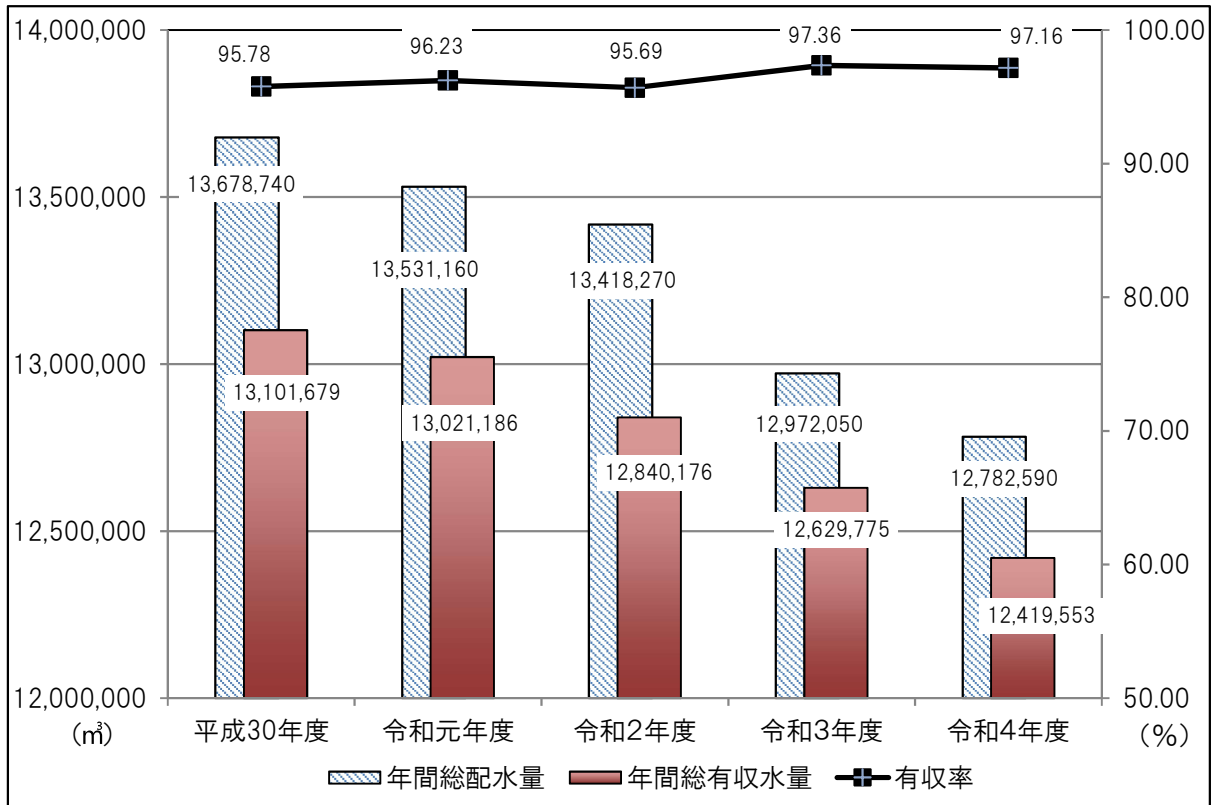
(1) 業務量の推移

項目		年度				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人口及戸数	総人口(人)	122,299	121,321	120,247	118,742	117,585
	給水人口(人)	122,299	121,321	120,247	118,742	117,585
	総戸数(戸)	62,389	62,792	63,115	63,099	63,411
	給水戸数(戸)	62,389	62,792	63,115	63,099	63,411
	普及率(%)	100	100	100	100	100
受水量	総受水量(m ³)	13,837,840	13,673,310	13,556,160	13,108,130	12,920,210
	1日平均受水量(m ³)	37,912	37,359	37,140	35,913	35,398
配水量	総配水量(m ³)	13,678,740	13,531,160	13,418,270	12,972,050	12,782,590
	1日最大配水量(m ³)	42,990	41,990	40,290	40,980	41,540
	1日平均配水量(m ³)	37,476	36,970	36,762	35,540	35,021
	1人1日最大配水量(ℓ)	352	346	335	345	353
	1人1日平均配水量(ℓ)	306	305	306	299	298
有収水量	総有収水量(m ³)	13,101,679	13,021,186	12,840,176	12,629,775	12,419,553
	(1)一般用(m ³)	13,004,259	12,894,890	12,738,732	12,525,576	12,287,873
	(2)湯屋用(m ³)	71,387	72,585	68,739	67,713	75,645
	(3)臨時用(m ³)	25,234	28,949	31,635	36,197	55,705
	(4)観賞用(m ³)	386	264	68	0	0
	(5)第三者破損水量(m ³)	413	24,498	1,002	289	330
有収率(%)		95.78	96.23	95.69	97.36	97.16
配水管延長(m)		224,309	224,947	225,104	225,145	225,033
損益勘定所属職員数(人)		24	22	23	22	23

(2)年間総配水量及び給水人口の推移(図表)



(3)年間総配水量、年間総有収水量及び有収率の推移(図表)



Ⅱ 施 設

1. 施 設 図 面

(1) 泉町浄水場

(2) 上馬伏配水場

2. 施 設 の 概 要

(1) 泉町浄水場

泉町浄水場フロー図

(2) 上馬伏配水場

上馬伏配水場フロー図

3. 給 水 モ ニ タ ー 装 置

4. 配 水 管 の 現 状

(1) 配水管布設延長

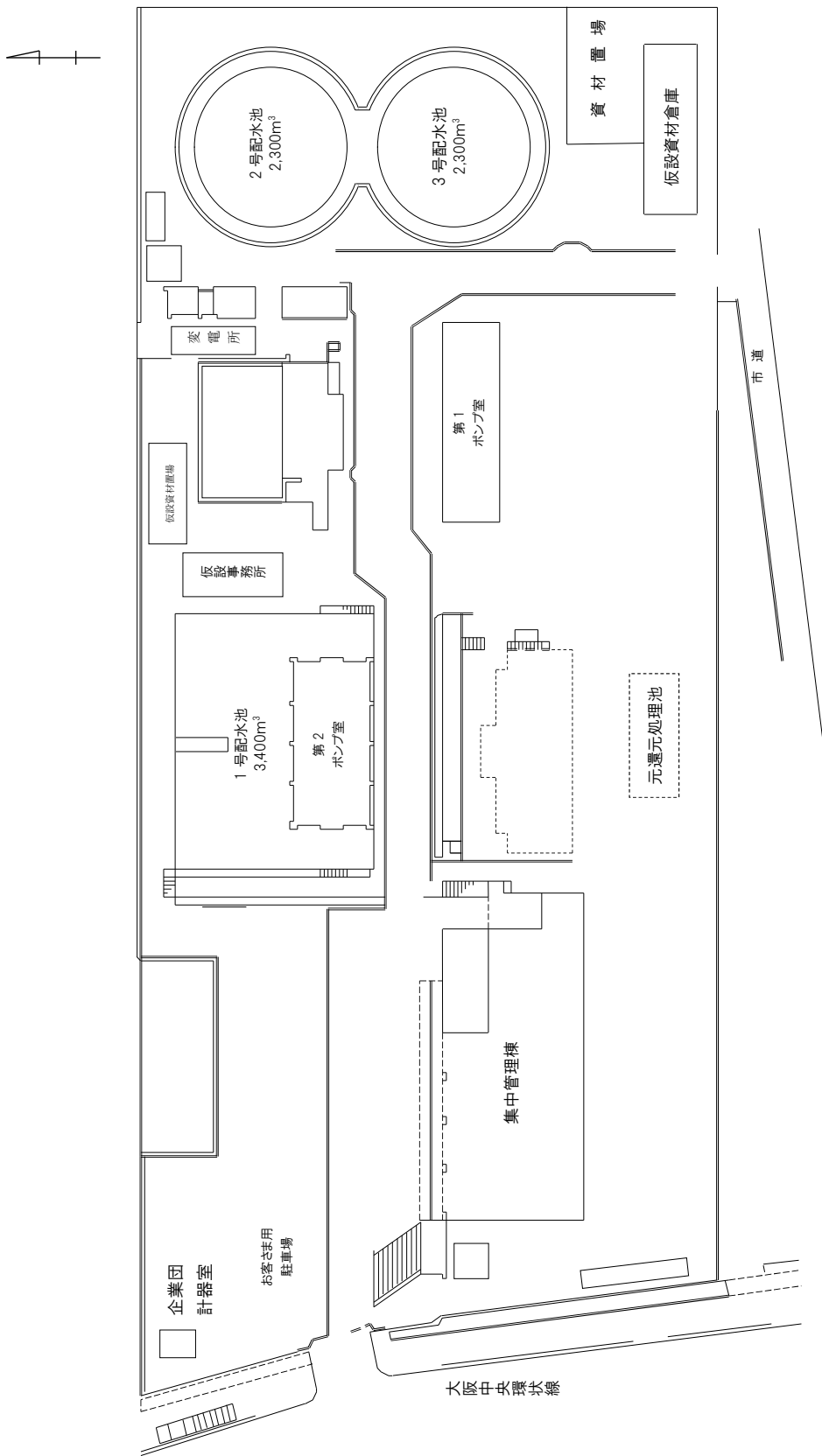
(2) 配水管布設推移

(3) 消火栓設置状況

5. 給 水 区 域 図

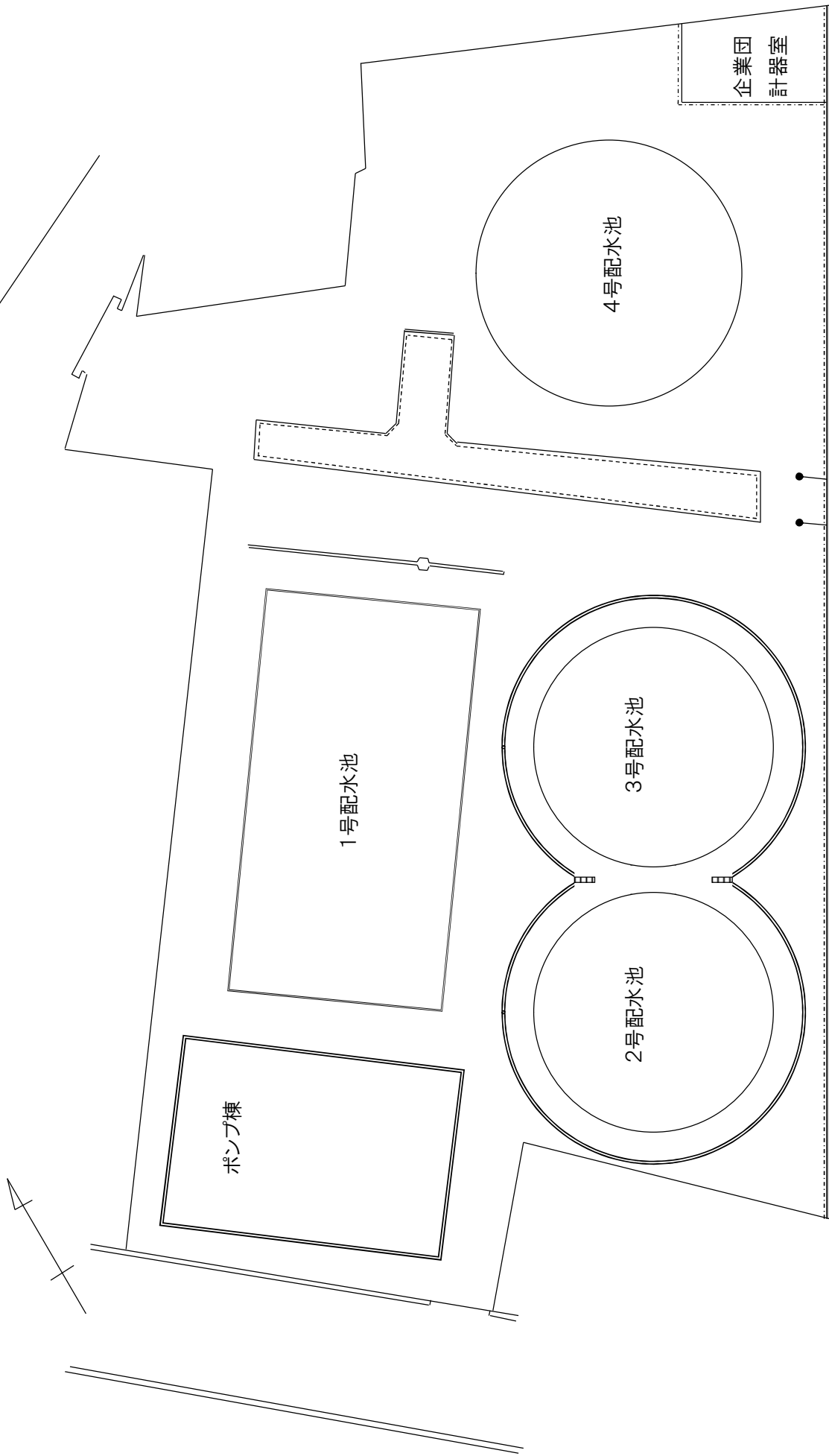
1.施設図面

(1)泉町浄水場
所在地 門真市泉町7番23号
敷地面積 12,762 m²



(2)上馬伏配水場 門真市四宮2丁目2番43号
敷地面積 9,344 m²

国道163号



2. 施設の概要

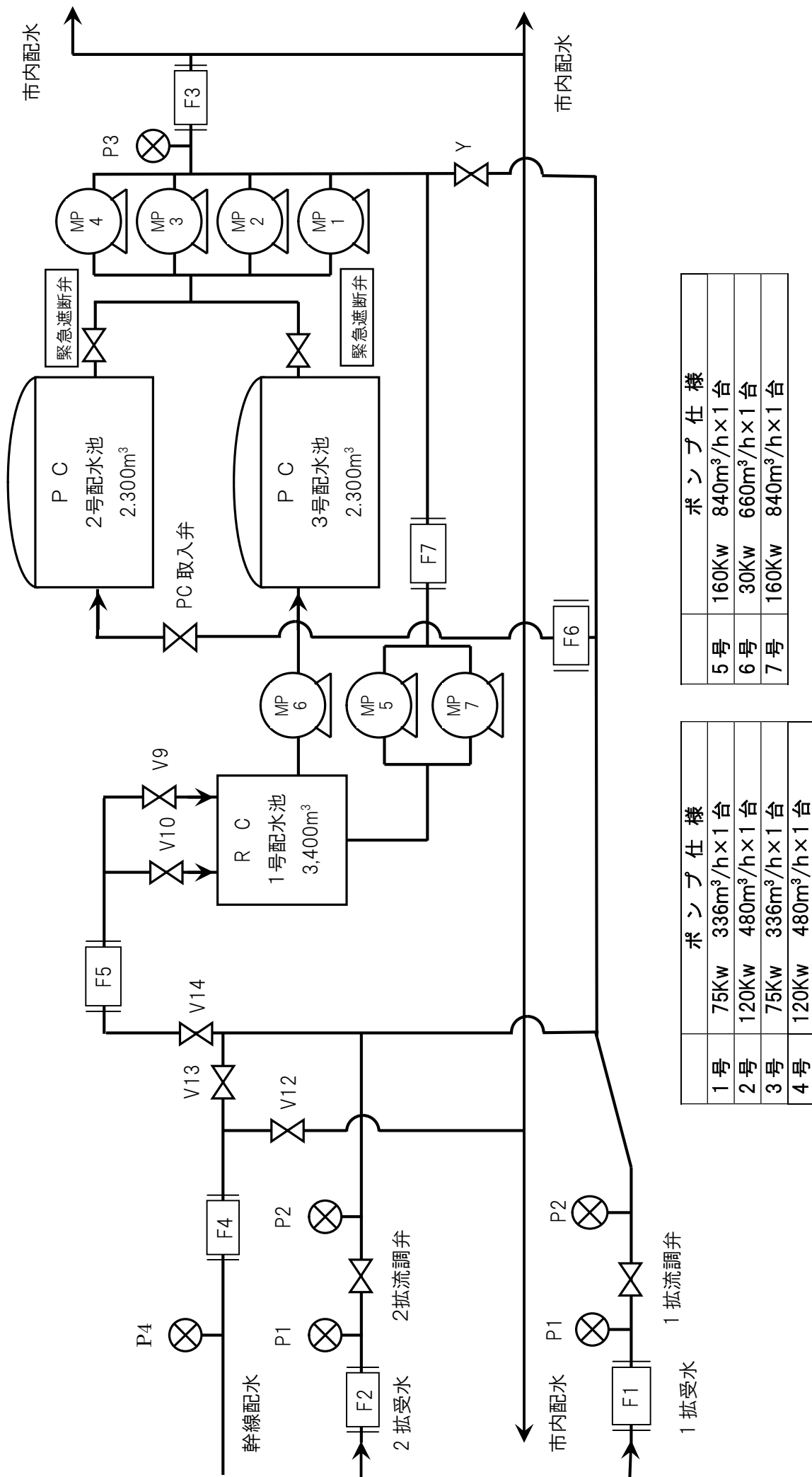
(1) 泉町浄水場

所在地 門真市泉町7番23号

敷地面積 12,762㎡

施設	内 容
浄水施設	薬品注入設備：次亜塩素酸ナトリウム生成装置 生成能力 12.0kg/日(塩素換算値)
配水施設	1号配水池：鉄筋コンクリート造り 有効容量 3,400㎡×1池 2・3号配水池：プレストレストコンクリート造り 有効容量 2,300㎡×2池 ※2号配水池については平成15年2月に鋼板壁による耐震補強工事施工済 配水ポンプ設備：5.6㎡/分×52.5m×75KW×2台(1・3号ポンプ)固定速 8.0㎡/分×50.0m×120KW×1台(2号ポンプ) 可変速 8.0㎡/分×50.0m×120KW×1台(4号ポンプ) 可変速 14.0㎡/分×52.0m×160KW×1台(5号ポンプ) 可変速 14.0㎡/分×52.0m×160KW×1台(7号ポンプ) 可変速 送水ポンプ設備：11.0㎡/分×10.0m×30KW×1台(6号ポンプ) 固定速
電気設備	受電電圧：6,600V(2回線受電) 契約電力：182KW(デマンド制=最大需要電力契約) 変圧器：750KVA×1台(440V) 200KVA×1台(220V) 100KVA×1台(110V) 50KVA×1台(220V) 自家用発電設備：40KVA(非常用電源)

泉町浄水場フロ一図



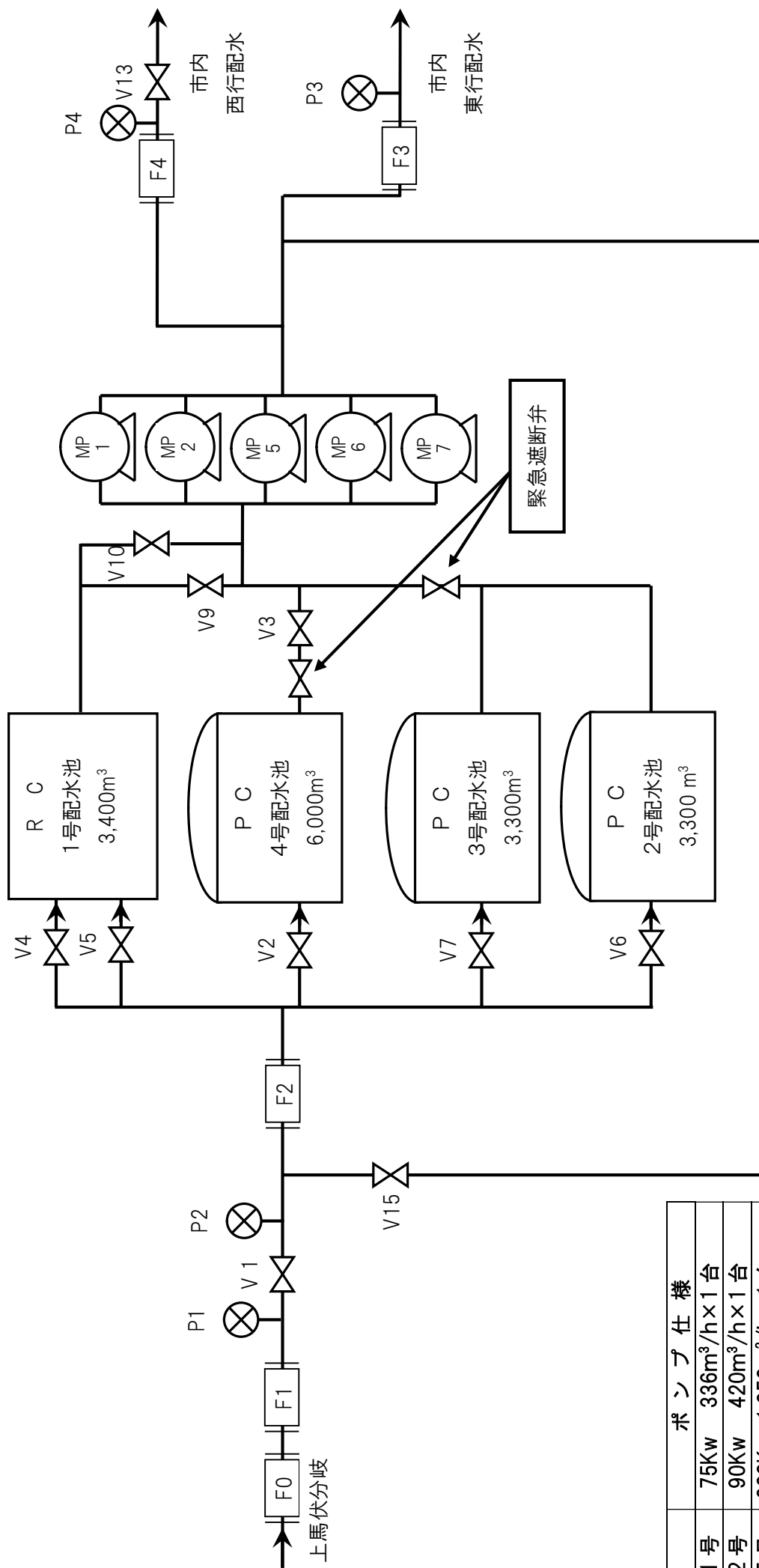
(2)上馬伏配水場

所在地 門真市四宮2丁目2番43号

敷地面積 9,344㎡

施設	内 容
浄水施設	薬品注入設備：次亜塩素酸ナトリウム生成装置 生成能力 12.0kg/日(塩素換算値)
配水施設	1号配水池：鉄筋コンクリート造り 有効容量 3,400㎡×1池 2・3号配水池：プレストレストコンクリート造り 有効容量 3,300㎡×2池 4号配水池：プレストレストコンクリート造り 有効容量 6,000㎡×1池 ※1号配水池については平成27年9月に廃止 ※2号配水池については平成14年2月に鋼板壁による耐震補強工事施工済 配水ポンプ設備：5.6㎡/分×50.0m×75KW×1台(1号ポンプ) 固定速 7.0㎡/分×50.0m×90KW×1台(2号ポンプ) 可変速 17.5㎡/分×50.0m×220KW×1台(6号ポンプ) 固定速 17.5㎡/分×50.0m×220KW×2台(5・7号ポンプ)可変速
電気設備	受電電圧：6,600V 契約電力：142KW(デマンド制=最大需要電力契約) 変圧器：750KVA×2台(440V) 75KVA×1台(220V) 50KVA×1台(110V) 自家用発電設備：30KVA(非常用電源)

上馬伏配水場フロ一図



ポンプ仕様	
1号	75Kw 336m³/h×1台
2号	90Kw 420m³/h×1台
5号	220Kw 1,050m³/h×1台
6号	220Kw 1,050m³/h×1台
7号	220Kw 1,050m³/h×1台

3. 給水モニター一装置

位置図



図番	測定項目	設置場所
1	残留塩素、濁度	浜町（門真みらい小学校内）
2	残留塩素、濁度、色度、pH、電気伝導率	御堂町（古川橋小学校内）
3	残留塩素、濁度	大橋町（大和田小学校内）
4	残留塩素、濁度	北島町（五月田小学校内）
5	残留塩素、濁度、色度、pH、電気伝導率	岸和田（東小学校内）
6	残留塩素、濁度、色度、pH、電気伝導率	殿島町（守口市門真市消防本部西側）
7	残留塩素、濁度、色度、pH、電気伝導率	三ツ島（門真市旧浄化センター内）

4. 配水管の現状

(1) 配水管布設延長(※m未満四捨五入)

管種	管径 (mm)	令和3年度 末延長(m)	令和4年度布設状況(m)		令和4年度 末延長(m)	
			布設	撤去		
鑄	1,200	72	0	0	72	
	1,000	112	0	0	112	
	800	56	0	0	56	
	700	81	0	0	81	
	600	7,442	0	0	7,442	
	500	2,123	0	0	2,123	
	450	82	0	0	82	
鉄	400	2,721	206	245	2,682	
	350	5,832	17	44	5,805	
	300	22,115	1	0	22,116	
	250	10,987	852	809	11,030	
	200	66,119	101	288	65,932	
	150	68,860	374	337	68,897	
	100	34,245	204	223	34,226	
管	75	3,769	86	7	3,848	
	小計	224,616	1,841	1,953	224,504	
	鋼	800	56	0	0	56
		600	17	0	0	17
		500	3	0	0	3
		400	118	0	0	118
		350	0	0	0	0
300		37	0	0	37	
250		34	0	0	34	
200		38	0	0	38	
150		55	0	0	55	
100		3	0	0	3	
80		6	0	0	6	
小計	367	0	0	367		
ステンレス鋼管	350	36	0	0	36	
	300	12	0	0	12	
	250	13	0	0	13	
	200	88	0	0	88	
	150	13	0	0	13	
	100	0	0	0	0	
小計	162	0	0	162		
合計		225,145	1,841	1,953	225,033	

※石綿管については、平成17年度に撤去済み

(2)配水管布設推移

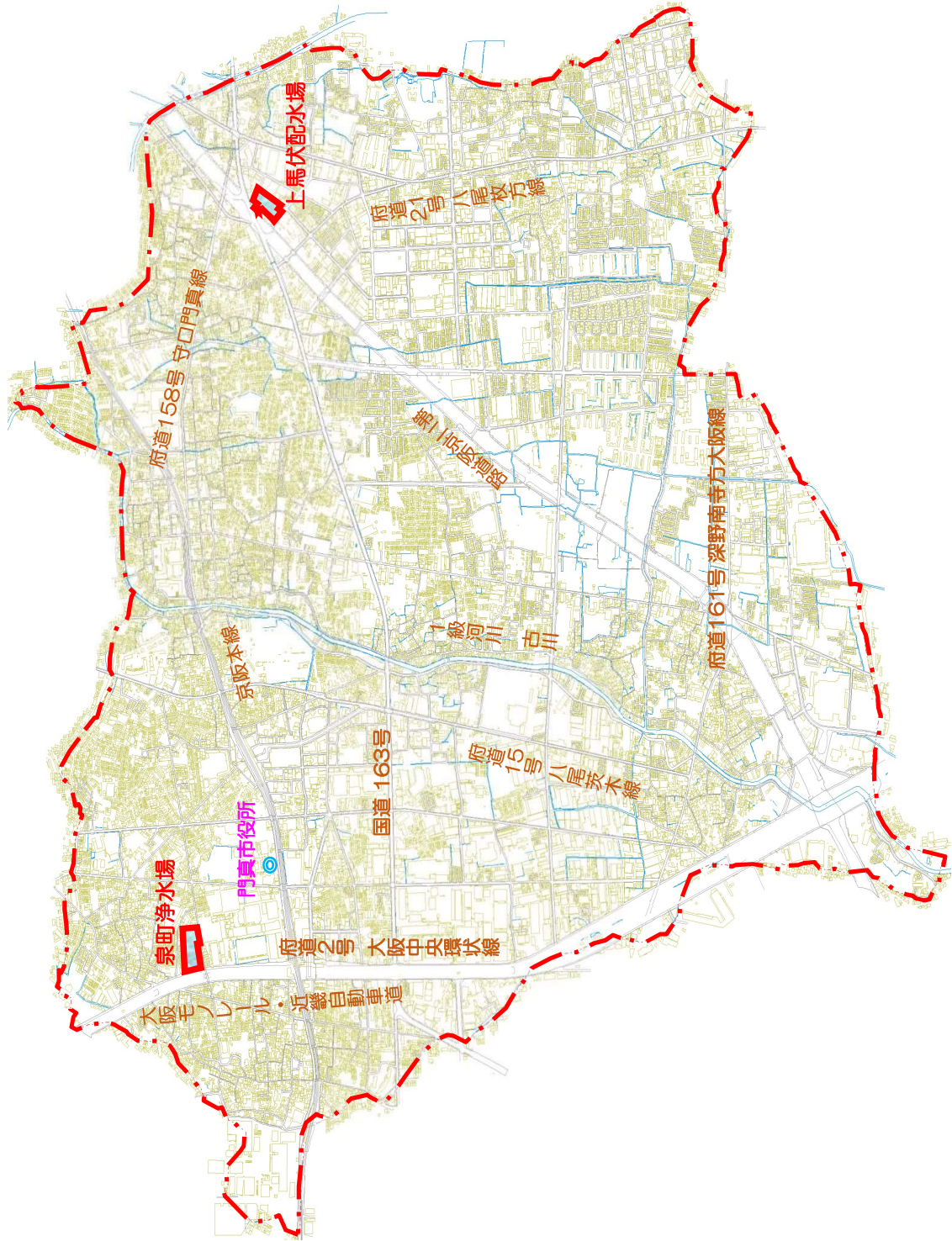
区分	管径 (mm)	年 度 別 推 移 (m)				
		平成30	令和元	2	3	4
鑄 鉄 管 布 設 延 長	1,200	0	0	0	0	0
	1,000	0	0	0	0	0
	800	0	0	0	0	0
	700	0	0	0	0	0
	600	9	0	0	0	0
	500	7	0	3	2	0
	400	0	0	0	0	206
	350	0	0	0	229	17
	300	32	83	2	18	1
	250	0	1,027	329	490	852
	200	685	485	477	533	101
	150	891	815	1,403	1,064	374
	100	116	173	141	4	204
	75	76	0	4	2	86
合 計		1,816	2,583	2,359	2,342	1,841

(3)消火栓設置状況

(単位:台)

種 別	形 式	3年度末 設置数	4年度設置状況		4年度末 設置数
			設 置	撤 去	
消火栓	地下式	1,649	22	18	1,653

5. 給水区域図



政 財 Ⅲ

1. 収 益 的 収 支
 - (1) 損益計算書
 - (2) 事業費用構成
2. 資 本 的 収 支
3. 貸 借 対 照 表
 - (1) 資産の部
 - (2) 負債・資本の部
4. 給 水 原 価 費 用 構 成
 - (1) 費用構成(受託工事費及び特別損失等を除く)及び供給単価
 - (2) 給水原価構成グラフ(令和4年度)
5. 企 業 債
 - (1) 事業別企業債明細書
6. 経 営 分 析
7. 業 務 分 析

1. 収益的収支

(1) 損益計算書

年度 科目	平成30		令和元		2	
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
水道事業収益	2,764,118,658	100.0	2,663,395,016	100.0	2,586,678,364	100.0
営業収益	2,536,050,980	91.7	2,466,623,708	92.6	2,205,505,858	85.3
給水収益	2,415,824,538	87.4	2,365,396,050	88.8	2,113,497,542	81.7
受託工事収益	51,924,304	1.9	28,514,148	1.1	35,747,823	1.4
その他営業収益	68,302,138	2.5	72,713,510	2.7	56,260,493	2.2
営業外収益	228,067,678	8.3	196,239,278	7.4	381,172,506	14.7
受取利息及配当金	2,975,779	0.1	1,224,556	0.0	1,725,502	0.1
他会計補助金	1,394,000	0.1	1,260,000	0.0	94,398,202	3.6
長期前受金戻入	134,388,689	4.9	144,987,099	5.4	138,553,218	5.4
雑収益	15,520,320	0.6	13,463,580	0.5	62,681,947	2.4
加入金	73,788,890	2.7	35,304,043	1.3	83,813,637	3.2
特別利益	0	-	532,030	0.0	0	-
水道事業費用	2,172,187,227	100.0	2,168,958,639	100.0	2,092,981,012	100.0
営業費用	2,088,599,423	96.2	2,092,221,700	96.5	2,015,662,878	96.3
原水及び浄水費	1,137,598,899	52.4	1,129,195,512	52.1	1,064,054,474	50.8
配水及び給水費	160,667,184	7.4	164,155,111	7.6	174,985,133	8.4
受託工事費	43,914,322	2.0	27,422,776	1.3	35,940,938	1.7
業務費	166,055,624	7.6	161,871,817	7.5	141,862,214	6.8
総係費	116,799,434	5.4	121,955,351	5.6	124,119,557	5.9
減価償却費	423,747,372	19.5	438,713,775	20.2	447,211,876	21.4
資産減耗費	39,816,588	1.8	48,907,358	2.3	27,488,686	1.3
営業外費用	83,587,804	3.8	76,736,939	3.5	77,318,134	3.7
支払利息及び企業債 取扱諸費	82,226,093	3.8	73,962,550	3.4	66,496,639	3.2
雑支出	1,361,711	0.1	2,774,389	0.1	10,821,495	0.5
特別損失	0	-	0	-	0	-
過年度損益修正損	0	-	0	-	0	-
その他特別損失	0	-	0	-	0	-
当年度純損益	591,931,431		494,436,377		493,697,352	
前年度繰越利益剰余金 又は前年度繰越欠損金	6,367,861		8,299,292		2,735,669	
その他未処分利益 剰余金変動額	409,410,855		483,245,456		393,000,000	
当年度未処分利益剰余 又は当年度未処理欠損	1,007,710,147		985,981,125		889,433,021	

3		4		すう勢比率(30年度=100)			
金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	令和元 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)
2,340,107,359	100.0	2,327,039,564	100.0	96.4	93.6	84.7	84.2
2,118,685,976	90.5	2,086,564,709	89.7	97.3	87.0	83.5	82.3
2,037,001,469	87.0	2,021,668,155	86.9	97.9	87.5	84.3	83.7
55,399,401	2.4	40,040,395	1.7	54.9	68.8	106.7	77.1
26,285,106	1.1	24,856,159	1.1	106.5	82.4	38.5	36.4
221,421,383	9.5	240,474,855	10.3	86.0	167.1	97.1	105.4
974,047	-	1,677,362	0.1	41.2	58.0	32.7	56.4
1,946,000	0.1	8,851,898	0.4	90.4	6,771.8	139.6	635.0
139,661,837	6.0	147,126,601	6.3	107.9	103.1	103.9	109.5
24,889,499	1.1	17,868,994	0.8	86.7	403.9	160.4	115.1
53,950,000	2.3	64,950,000	2.8	47.8	113.6	73.1	88.0
0	-	0	-	皆増	-	-	-
2,125,341,679	100.0	2,137,199,853	100.0	99.9	96.4	97.8	98.4
2,060,629,231	97.0	2,080,398,442	97.3	100.2	96.5	98.7	99.6
1,080,140,834	50.8	1,076,968,525	50.4	99.3	93.5	94.9	94.7
168,042,992	7.9	161,772,316	7.6	102.2	108.9	104.6	100.7
55,891,973	2.6	47,952,219	2.2	62.4	81.8	127.3	109.2
112,861,339	5.3	108,401,397	5.1	97.5	85.4	68.0	65.3
133,467,767	6.3	120,333,546	5.6	104.4	106.3	114.3	103.0
456,359,638	21.5	464,920,716	21.8	103.5	105.5	107.7	109.7
53,864,688	2.5	100,049,723	4.7	122.8	69.0	135.3	251.3
64,712,448	3.0	56,801,411	2.7	91.8	92.5	77.4	68.0
59,579,604	2.8	53,087,072	2.5	90.0	80.9	72.5	64.6
5,132,844	0.2	3,714,339	0.2	203.7	794.7	376.9	272.8
0	-	0	-	-	-	-	-
0	-	0	-	-	-	-	-
0	-	0	-	-	-	-	-
214,765,680		189,839,711		83.5	83.4	36.3	32.1
6,433,021		1,198,701					
670,000,000		720,000,000					
891,198,701		911,038,412					

※消費税抜き

(2) 事業費用構成

年度 科目	平成30		令和元		2	
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
職員給与費	185,708,329	8.5	169,014,736	7.8	181,706,196	8.7
支払利息	82,226,093	3.8	73,962,550	3.4	66,496,639	3.2
減価償却費	423,747,372	19.5	438,713,775	20.2	447,211,876	21.4
動力費	26,929,887	1.2	25,453,962	1.2	24,244,372	1.2
光熱水費	2,598,752	0.1	2,832,918	0.1	3,086,584	0.1
通信運搬費	3,199,499	0.1	3,365,540	0.2	3,433,455	0.2
修繕費	23,095,272	1.1	25,591,667	1.2	20,584,618	1.0
材料費	1,120,345	0.1	1,524,932	0.1	1,435,814	0.1
薬品費	78,300	0.0	54,180	0.0	54,180	0.0
委託料	306,150,578	14.1	329,481,576	15.2	285,264,103	13.6
受水費	996,324,480	45.9	984,478,320	45.4	930,745,820	44.5
工事請負費	56,859,107	2.6	39,912,090	1.8	62,653,977	3.0
その他	64,149,213	3.0	74,572,393	3.4	66,063,378	3.2
費用合計	2,172,187,227	100.0	2,168,958,639	100.0	2,092,981,012	100.0

2. 資本的収支

年 科目	平成30		令和元		2	
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
資本的收入	151,963,931	100.0	200,561,953	100.0	175,214,014	100.0
企業債	70,000,000	46.1	104,000,000	51.9	115,200,000	65.7
工事負担金	70,713,931	46.5	96,447,983	48.1	60,014,014	34.3
国庫補助金	11,250,000	7.4	0	-	0	-
資本的支出	942,092,006	100.0	1,084,154,131	100.0	961,117,832	100.0
建設改良費	663,743,869	70.5	815,812,161	75.2	698,484,936	72.7
整備事業費	415,644,111	44.1	552,497,234	51.0	463,073,727	48.2
配水設備改良費	221,788,514	23.5	225,883,791	20.8	214,537,023	22.3
量水器費	17,435,891	1.9	12,905,536	1.2	14,824,186	1.5
固定資産購入費	8,875,353	0.9	24,525,600	2.3	6,050,000	0.6
企業債償還金	278,348,137	29.5	268,341,970	24.8	262,632,896	27.3
投資	0	-	0	-	0	-
収支不足額	790,128,075		883,592,178		785,903,818	

3		4		すう勢比率(30年度=100)			
金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	令和元 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)
193,176,973	9.1	177,413,065	8.3	91.0	97.8	104.0	95.5
59,579,604	2.8	53,087,072	2.5	90.0	80.9	72.5	64.6
456,359,638	21.5	464,920,716	21.8	103.5	105.5	107.7	109.7
24,551,030	1.2	24,551,030	1.1	94.5	90.0	91.2	91.2
3,313,396	0.2	3,905,692	0.2	109.0	118.8	127.5	150.3
3,160,546	0.1	3,090,029	0.1	105.2	107.3	98.8	96.6
16,546,023	0.8	18,642,633	0.9	110.8	89.1	71.6	80.7
1,512,902	0.1	1,733,323	0.1	136.1	128.2	135.0	154.7
16,555	0.0	46,035	0.0	69.2	69.2	21.1	58.8
268,298,725	12.6	274,141,068	12.8	107.6	93.2	87.6	89.5
943,785,360	44.4	930,255,120	43.5	98.8	93.4	94.7	93.4
68,816,804	3.2	53,158,191	2.5	70.2	110.2	121.0	93.5
86,224,123	4.1	132,255,879	6.2	116.2	103.0	134.4	206.2
2,125,341,679	100.0	2,137,199,853	100.0	99.9	96.4	97.8	98.4

※消費税抜き

3		4		すう勢比率(30年度=100)			
金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	令和元 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)
168,387,778	100.0	260,703,981	100.0	132.0	115.3	110.8	171.6
37,300,000	22.2	108,700,000	41.7	148.6	164.6	53.3	155.3
131,087,778	77.8	152,003,981	58.3	136.4	84.9	185.4	215.0
0	-	0	-	皆減	皆減	皆減	皆減
1,234,739,227	100.0	1,410,807,812	100.0	115.1	102.0	131.1	149.8
867,514,992	70.3	1,060,111,904	75.1	122.9	105.2	130.7	159.7
655,163,527	53.1	842,585,519	59.7	132.9	111.4	157.6	202.7
191,159,380	15.5	195,500,151	13.8	101.8	96.7	86.2	88.1
14,713,085	1.2	15,484,270	1.1	74.0	85.0	84.4	88.8
6,479,000	0.5	6,541,964	0.5	276.3	68.2	73.0	73.7
267,417,235	21.6	250,695,908	17.8	96.4	94.4	96.1	90.1
99,807,000	8.1	100,000,000	7.1	-	-	皆増	皆増
1,066,351,449		1,150,103,831		111.8	99.5	135.0	145.6

※消費税込み

3. 貸借対照表

(1) 資産の部

年度 科目	平成30		令和元		2	
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
1. 固定資産	10,592,429,233	72.0	10,863,872,658	72.4	11,032,124,160	71.7
(1)有形固定資産	10,590,396,379	71.9	10,861,839,804	72.4	11,030,091,306	71.7
(イ) 土地	154,112,600	1.0	153,998,630	1.0	153,998,630	1.0
(ロ) 建物	288,947,334	2.0	276,663,915	1.8	264,849,539	1.7
減価償却累計額	617,006,905		627,840,324		639,654,700	
(ハ) 構築物	9,469,024,864	64.3	9,742,523,515	64.9	9,749,842,872	63.4
減価償却累計額	8,733,149,591		9,040,813,913		9,372,138,959	
(ニ) 機械及び装置	449,712,977	3.1	423,607,459	2.8	445,217,338	2.9
減価償却累計額	1,279,622,563		1,266,455,500		1,280,879,531	
(ホ) 車両運搬具費	962,862	0.0	962,862	0.0	962,862	0.0
減価償却累計額	18,294,363		18,294,363		18,294,363	
(ヘ) 工具器具及備品	31,074,550	0.2	36,325,090	0.2	34,782,507	0.2
減価償却累計額	78,060,288		81,687,162		77,835,049	
(ト) 建設仮勘定	196,561,192	1.3	227,758,333	1.5	380,437,558	2.5
(2) 無形固定資産	2,032,854	0.0	2,032,854	0.0	2,032,854	0.0
(イ) 電話加入権	2,032,854	0.0	2,032,854	0.0	2,032,854	0.0
(3) 投資	0	-	0	-	0	-
(イ) 投資有価証券	0	-	0	-	0	-
2. 流動資産	4,128,731,285	28.0	4,140,908,621	27.6	4,347,996,449	28.3
(1) 現金預金	3,755,987,855	25.5	3,528,316,098	23.5	3,399,092,862	22.1
(2) 未収金	331,221,312	2.2	395,800,345	2.6	374,774,766	2.4
貸倒引当金	11,020,766		9,614,705		8,565,257	
(3) 他会計貸付金	0	0.0	200,000,000	1.3	400,000,000	2.6
(4) 貯蔵品	15,863,326	0.1	16,647,776	0.1	18,826,335	0.1
(5) 前払金	25,658,792	0.2	144,402	0.0	155,302,486	1.0
資産合計	14,721,160,518	100.0	15,004,781,279	100.0	15,380,120,609	100.0

※有形固定資産の(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)、(ヘ)は資産額から減価償却累計額を減じた額

※流動資産の(2)は貸倒引当金を減じた額

3		4		すう勢比率(30年度=100)			
金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	令和元 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)
11,420,415,921	74.8	11,935,968,920	78.5	102.6	104.2	107.8	112.7
11,318,571,596	74.1	11,734,084,796	77.1	102.6	104.2	106.9	110.8
153,998,630	1.0	153,998,630	1.0	99.9	99.9	99.9	99.9
249,887,732	1.6	413,167,479	2.7	95.7	91.7	86.5	143.0
595,631,967		599,374,035		101.8	103.7	96.5	97.1
10,204,818,887	66.9	10,523,844,023	69.2	102.9	103.0	107.8	111.1
9,672,624,404		9,967,289,536		103.5	107.3	110.8	114.1
406,337,918	2.7	417,246,391	2.7	94.2	99.0	90.4	92.8
1,308,869,920		1,345,306,692		99.0	100.1	102.3	105.1
962,862	0.0	962,862	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18,294,363		18,294,363		100.0	100.0	100.0	100.0
35,464,271	0.2	29,220,348	0.2	116.9	111.9	114.1	94.0
69,153,498		74,489,974		104.6	99.7	88.6	95.4
267,101,296	1.7	195,645,063	1.3	115.9	193.5	135.9	99.5
2,032,854	0.0	2,032,854	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2,032,854	0.0	2,032,854	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
99,811,471	0.7	199,851,270	1.3	-	-	皆増	皆増
99,811,471	0.7	199,851,270	1.3	-	-	皆増	皆増
3,843,966,999	25.2	3,269,430,953	21.5	100.3	105.3	93.1	79.2
2,952,999,615	19.3	2,497,515,206	16.4	93.9	90.5	78.6	66.5
337,472,098	2.2	324,062,495	2.1	119.5	113.1	101.9	97.8
8,764,650		10,439,317		87.2	77.7	79.5	94.7
320,000,000	2.1	300,000,000	2.0	皆増	皆増	皆増	皆増
14,927,570	0.1	17,971,958	0.1	104.9	118.7	94.1	113.3
218,567,716	1.4	129,881,294	0.9	0.6	605.3	851.8	506.2
15,264,382,920	100.0	15,205,399,873	100.0	101.9	104.5	103.7	103.3

(2)負債・資本の部

科目	年	平成30		令和元		2	
		金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
3. 固定負債		3,719,946,204	25.3	3,564,124,790	23.8	3,417,807,624	22.2
(1) 建設改良企業債		3,249,516,281	22.1	3,090,883,385	20.6	2,938,666,150	19.1
(2) 退職給付引当金		180,027,646	1.2	188,849,528	1.3	194,936,097	1.3
(3) 修繕引当金(従前)		290,402,277	2.0	284,391,877	1.9	284,205,377	1.8
4. 流動負債		752,526,769	5.1	739,468,069	4.9	854,283,505	5.6
(1)建設改良企業債		268,341,970	1.8	262,632,896	1.8	267,417,235	1.7
(2) 未払金		323,520,592	2.2	310,300,708	2.1	371,021,601	2.4
(3) 前受金		27,046,814	0.2	29,566,814	0.2	31,906,814	0.2
(4) 引当金		17,712,439	0.1	17,432,225	0.1	18,134,028	0.1
(5) 預り金		115,904,954	0.8	119,535,426	0.8	165,803,827	1.1
5. 繰延収益		3,082,015,659	20.9	3,036,834,701	20.2	2,949,978,409	19.2
(イ)受贈財産評価額		163,979,751	1.1	163,657,108	1.1	156,634,076	1.0
受贈財産評価額 収益化累計額		119,554,703		126,246,674		133,269,706	
(ロ) 工事負担金		2,820,179,701	19.2	2,776,984,768	18.5	2,698,814,890	17.5
工事負担金収益化累計額		2,533,938,754		2,634,976,107		2,742,464,741	
(ハ) 国庫補助金		97,856,207	0.7	96,192,825	0.6	94,529,443	0.6
国庫補助金収益化累計額		1,711,323		3,374,705		5,038,087	
負債合計		7,554,488,632	51.3	7,340,427,560	48.9	7,222,069,538	47.0
6. 資本金		3,882,689,469	26.4	4,292,100,324	28.6	4,775,345,780	31.0
(1) 資本金		3,882,689,469	26.4	4,292,100,324	28.6	4,775,345,780	31.0
7. 剰余金		3,283,982,417	22.3	3,372,253,395	22.5	3,382,705,291	22.0
(1) 資本剰余金		23,272,270	0.2	23,272,270	0.2	23,272,270	0.2
(2) 利益剰余金		3,260,710,147	22.1	3,348,981,125	22.3	3,359,433,021	21.8
(イ) 減債積立金		50,000,000	0.3	50,000,000	0.3	50,000,000	0.3
(ロ) 建設改良積立金		2,203,000,000	15.0	2,313,000,000	15.4	2,420,000,000	15.7
(ハ) 当年度未処分利益剰 余金又は未処理欠損金		591,931,431	4.0	494,436,377	3.3	493,697,352	3.2
(ニ) その他未処分利益剰余金変動額		415,778,716	2.8	491,544,748	3.3	395,735,669	2.6
資本合計		7,166,671,886	48.7	7,664,353,719	51.1	8,158,051,071	53.0
負債・資本合計		14,721,160,518	100.0	15,004,781,279	100.0	15,380,120,609	100.0

※長期前受金の(イ)、(ロ)、(ハ)は収益化累計額を減じた額

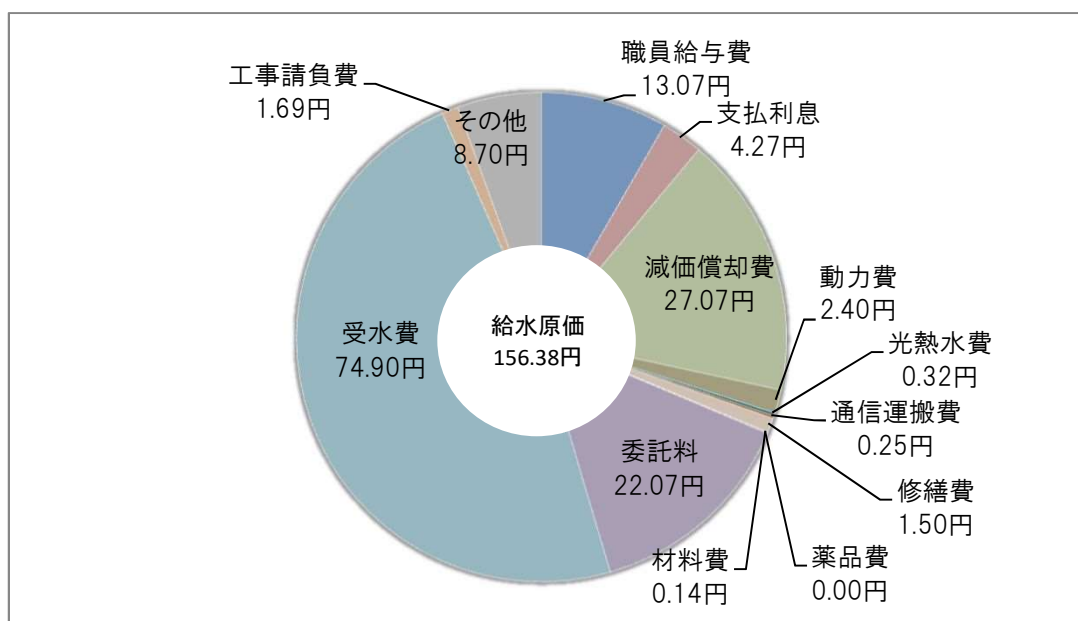
3		4		すう勢比率(30年度=100)			
金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	令和元 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)
3,144,711,567	20.6	3,060,471,260	20.1	95.8	91.9	84.5	82.3
2,687,970,242	17.6	2,602,984,698	17.1	95.1	90.4	82.7	80.1
191,789,548	1.3	201,649,785	1.3	104.9	108.3	106.5	112.0
264,951,777	1.7	255,836,777	1.7	97.9	97.9	91.2	88.1
814,930,645	5.3	657,983,738	4.3	98.3	113.5	108.3	87.4
287,995,908	1.9	230,985,544	1.5	97.9	99.7	107.3	86.1
299,092,352	2.0	214,100,675	1.4	95.9	114.7	92.4	66.2
33,226,814	0.2	31,046,814	0.2	109.3	118.0	122.8	114.8
17,119,249	0.1	18,097,382	0.1	98.4	102.4	96.7	102.2
177,496,322	1.2	163,753,323	1.1	103.1	143.1	153.1	141.3
2,931,923,957	19.2	2,923,208,254	19.2	98.5	95.7	95.1	94.8
149,822,981	1.0	142,905,722	0.9	99.8	95.5	91.4	87.1
139,474,069		146,391,328		105.6	111.5	116.7	122.4
2,689,234,915	17.6	2,689,099,853	17.7	98.5	95.7	95.4	95.4
2,842,147,365		2,929,789,897		104.0	108.2	112.2	115.6
92,866,061	0.6	91,202,679	0.6	98.3	96.6	94.9	93.2
6,701,469		8,364,851		197.2	294.4	391.6	488.8
6,891,566,169	45.1	6,641,663,252	43.7	97.2	95.6	91.2	87.9
5,168,345,780	33.9	5,838,345,780	38.4	110.5	123.0	133.1	150.4
5,168,345,780	33.9	5,838,345,780	38.4	110.5	123.0	133.1	150.4
3,204,470,971	21.0	2,725,390,841	17.9	102.7	103.0	97.6	83.0
23,272,270	0.2	23,272,270	0.2	100.0	100.0	100.0	100.0
3,181,198,701	20.8	2,702,118,571	17.8	102.7	103.0	97.6	82.9
50,000,000	0.3	50,000,000	0.3	100.0	100.0	100.0	100.0
2,240,000,000	14.7	1,740,000,000	11.4	105.0	109.9	101.7	79.0
214,765,680	1.4	189,839,711	1.2	83.5	83.4	36.3	32.1
676,433,021	4.4	722,278,860	4.8	118.2	95.2	162.7	173.7
8,372,816,751	54.9	8,563,736,621	56.3	106.9	113.8	116.8	119.5
15,264,382,920	100.0	15,205,399,873	100.0	101.9	104.5	103.7	103.3

4. 給水原価費用構成

(1) 費用構成(受託工事費及び特別損失等を除く)及び供給単価

年度 科目	平成30		令和元		2		3		4	
	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価
職員給与費	179,947,790	13.73	161,231,667	12.39	173,819,709	13.57	181,589,370	14.38	162,275,435	13.07
支払利息	82,226,093	6.27	73,962,550	5.67	66,496,639	5.18	59,579,604	4.72	53,087,072	4.27
減価償却費	296,049,135	22.60	310,028,488	23.81	317,973,151	24.76	327,808,218	25.96	336,139,097	27.07
動力費	26,929,887	2.05	25,453,962	1.95	24,244,372	1.88	24,551,030	1.94	29,833,029	2.40
光熱水費	2,598,752	0.20	2,832,918	0.21	3,086,584	0.24	3,313,396	0.26	3,905,692	0.32
通信運搬費	3,199,499	0.24	3,334,994	0.26	3,433,455	0.27	3,160,546	0.25	3,090,029	0.25
修繕費	23,095,272	1.76	25,591,667	1.96	20,584,618	1.60	16,546,023	1.31	18,642,633	1.50
材料費	886,571	0.08	1,231,539	0.09	1,296,239	0.10	1,512,902	0.12	1,733,323	0.14
薬品費	78,300	0.00	54,180	0.00	54,180	0.00	16,555	0.00	46,035	0.00
委託料	306,150,578	23.36	329,481,576	25.30	285,264,103	22.22	268,298,725	21.24	274,141,068	22.07
受水費	996,324,480	76.05	984,478,320	75.61	930,745,820	72.48	943,785,360	74.73	930,255,120	74.90
工事請負費	18,959,784	1.46	20,597,523	1.58	34,739,592	2.70	24,879,980	1.97	20,988,191	1.69
その他	57,438,074	4.39	58,269,380	4.50	56,748,394	4.41	74,746,160	5.92	107,984,309	8.70
費用合計	1,993,884,215	152.19	1,996,548,764	153.33	1,918,486,856	149.41	1,929,787,869	152.80	1,942,121,033	156.38
供給単価		184.39		181.66		164.60		161.29		162.78

(2) 給水原価構成グラフ(令和4年度)



5. 企業債

(1)事業別企業債明細書

(単位:円)

事業名	借入先	発行総額	償還高		未償還残高
			当年度償還高	償還高累計	
第2次水道拡張事業	政府資金	791,700,000	46,376,307	717,053,437	74,646,563
	地方公共団体 金融機構	373,200,000	24,651,190	366,341,238	6,858,762
	合計	1,164,900,000	71,027,497	1,083,394,675	81,505,325
第2次水道施設等 整備事業	政府資金	1,027,700,000	45,230,305	702,683,441	325,016,559
	地方公共団体 金融機構	786,300,000	38,875,047	594,232,228	192,067,772
	合計	1,814,000,000	84,105,352	1,296,915,669	517,084,331
第3次水道施設等 整備事業	政府資金	1,138,900,000	42,225,792	380,633,997	758,266,003
	地方公共団体 金融機構	904,100,000	36,029,412	338,719,457	565,380,543
	合計	2,043,000,000	78,255,204	719,353,454	1,323,646,546
第4次水道施設等 整備事業	政府資金	460,000,000	16,367,805	82,525,910	377,474,090
	合計	460,000,000	16,367,805	82,525,910	377,474,090
第5次水道施設等 整備事業	政府資金	535,200,000	940,050	940,050	534,259,950
	合計	535,200,000	940,050	940,050	534,259,950
総合計		6,017,100,000	250,695,908	3,183,129,758	2,833,970,242

6. 経営分析

項 目	平成30	令和元	2	3	4	公 式
固定資産 構成比率 (%)	71.95	72.40	71.73	74.82	78.50	$\frac{\text{固定資産 (円)}}{\text{資産合計 (円)}} \times 100$
固定負債 構成比率 (%)	25.27	23.75	22.22	20.60	20.13	$\frac{\text{固定負債 (円)}}{\text{負債資本合計 (円)}} \times 100$
固定比率 (%)	103.35	101.52	99.32	101.02	103.91	$\frac{\text{固定資産 (円)}}{\text{資本金+剰余金+繰延収益(円)}} \times 100$
固定資産対 長期資本比率 (%)	75.83	76.16	75.95	79.04	82.05	$\frac{\text{固定資産 (円)}}{\text{固定負債+資本金+剰余金+繰延収益(円)}} \times 100$
自己資本 構成比率 (%)	69.62	71.32	72.22	74.06	75.55	$\frac{\text{自己資本金+剰余金+繰延収益(円)}}{\text{負債資本合計 (円)}} \times 100$
流動比率 (%)	548.65	559.98	508.96	471.69	496.89	$\frac{\text{流動資産 (円)}}{\text{流動負債 (円)}} \times 100$
当座比率 (%)	543.13	530.67	441.76	403.77	428.82	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)(円)}}{\text{流動負債 (円)}} \times 100$
現金比率 (%)	499.12	477.14	397.89	362.36	379.57	$\frac{\text{現金預金 (円)}}{\text{流動負債 (円)}} \times 100$
総収益対 総費用比率 (%)	127.25	122.80	123.59	110.10	108.88	$\frac{\text{総収益 (円)}}{\text{総費用 (円)}} \times 100$
経常収益対 経常費用比率 (%)	127.25	122.77	123.59	110.10	108.88	$\frac{\text{営業収益+営業外収益(円)}}{\text{営業費用+営業外費用(円)}} \times 100$
営業収益対 営業費用比率 (%)	121.49	118.08	109.60	102.92	100.69	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益(円)}}{\text{営業費用-受託工事費用(円)}} \times 100$
企業債償還元金 対料金収入比率 (%)	11.52	11.34	12.43	13.13	12.40	$\frac{\text{企業債償還元金 (円)}}{\text{料金収入 (円)}} \times 100$
企業債利息 対料金収入比率 (%)	3.40	3.13	3.15	2.92	2.63	$\frac{\text{企業債利息 (円)}}{\text{料金収入 (円)}} \times 100$
企業債元利償還元金 対料金収入比率 (%)	14.93	14.47	15.57	16.05	15.03	$\frac{\text{企業債元利償還元金 (円)}}{\text{料金収入 (円)}} \times 100$
職員給与費対 料金収入比率 (%)	7.45	6.82	8.22	8.91	8.03	$\frac{\text{職員給与費 (円)}}{\text{料金収入 (円)}} \times 100$
固定資産 回 転 率 (回)	0.24	0.23	0.20	0.18	0.18	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益(円)}}{\text{(期首固定資産+期末固定資産)(円)}} \times 1/2$
未収金回転率 (回)	6.92	10.75	5.50	5.66	6.20	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益(円)}}{\text{(期首未収金+期末未収金)(円)}} \times 1/2$
流動資産 回 転 率 (回)	0.61	0.59	0.51	0.50	0.58	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益(円)}}{\text{(期首流動資産+期末流動資産)(円)}} \times 1/2$

算式(令和4年度)	説明
$\frac{11,935,968,920}{15,205,399,873} \times 100$	この比率が高ければ資本が固定化の傾向にある。公営企業の場合は設備投資型企業であるのでこの比率が高い。
$\frac{3,060,471,260}{15,205,399,873} \times 100$	この比率が高ければ負債の返済に追われ、金利負担により企業経営が悪化することになる。
$\frac{11,935,968,920}{11,486,944,875} \times 100$	固定資産の調達原資は自己資本によって賄われるべきであるとする企業財政上の原則から100%以下が望ましい。
$\frac{11,935,968,920}{14,547,416,135} \times 100$	この比率が100%以上の場合は固定資産の調達原資の一部が短期資金で賄われていることを意味する。
$\frac{11,486,944,875}{15,205,399,873} \times 100$	企業経営上はこの比率が高いほど良いが、通常公営企業は施設を企業債で建設するので一般的に低率である。
$\frac{3,269,430,953}{657,983,738} \times 100$	この比率が高ければ短期資金に応じる流動資産が豊富なことを意味する。流動性を確保するためには、2倍以上が理想である。
$\frac{2,821,577,701}{657,983,738} \times 100$	流動比率の補助比率で当座資産(現金預金と未収金)をどれだけ有しているかを示し、支払能力をより厳密に測る指標である。
$\frac{2,497,515,206}{657,983,738} \times 100$	この比率は当座の支払能力を測定するために用いられるもので、100%以上である事が望ましい。
$\frac{2,327,039,564}{2,137,199,853} \times 100$	総収益が総費用の何%に当たるかを表すもので、100%以上は黒字で、100%以下は赤字経営となる。
$\frac{2,327,039,564}{2,137,199,853} \times 100$	営業成績の良否を判定するもので、独立採算制の原則により100%以上がよい。
$\frac{2,046,524,314}{2,032,446,223} \times 100$	営業活動の能率を示すもので経営活動の成否が判断される。この比率が100%以下である場合は、原価に見合う収益の確保に努める必要がある。
$\frac{250,695,908}{2,021,668,155} \times 100$	企業債償還能力を示すものである。この比率が小さいほど企業債への依存が小さく経営は安定している。
$\frac{53,087,072}{2,021,668,155} \times 100$	上記比率と同じ意味を示すが、この比率が大きいほど企業債利息が経営を圧迫していることを意味する。
$\frac{303,782,980}{2,021,668,155} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{162,275,435}{2,021,668,155} \times 100$	職員給与費の分析上最もよく用いられる指標の1つである。この比率が高いほど労働分配率が高く固定費の増嵩を意味する。
$\frac{2,046,524,314}{11,628,286,685}$	この比率が高ければ固定資産が有効利用されていることを示し、低いことは過大投資を意味する。
$\frac{2,046,524,314}{329,929,963}$	営業未収金等の回転速度を示すもので、高いほど未収金の回収期間が短いことを意味する。
$\frac{2,046,524,314}{3,556,698,976}$	この比率が高いほど企業の資本運用効率が良いことを意味する。

項 目	平成30	令和元	2	3	4	公 式
未払金回転率(回)	6.85	7.69	6.37	6.16	16.55	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益(円)}}{(\text{期首未払金}+\text{期末未払金})(円)} \times 1/2$
利子負担率(%)	2.34	2.21	2.07	2.00	1.87	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費(円)}}{\text{負債(企業債}+\text{他会計借入金}+\text{一時借入金})(円)} \times 100$
単年度欠損金比率(%)	—	—	—	—	—	$\frac{\text{単年度欠損金(円)}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益(円)}} \times 100$
累積欠損金比率(%)	—	—	—	—	—	$\frac{\text{累積欠損金(円)}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益(円)}} \times 100$
不良債務比率(%)	—	—	—	—	—	$\frac{(\text{流動負債}-\text{企業債})-(\text{流動資産}-\text{翌年度繰越財源})(円)}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益(円)}} \times 100$

7. 業務分析

項 目	平成30	令和元	2	3	4	公 式
負 荷 率 (%)	87.17	88.04	91.24	86.73	84.31	$\frac{\text{1日平均配水量(m}^3\text{)}}{\text{1日最大配水量(m}^3\text{)}} \times 100$
施設利用率(%)	52.05	51.35	51.06	49.36	48.64	$\frac{\text{1日平均配水量(m}^3\text{)}}{\text{配水能力(m}^3\text{)}} \times 100$
最大稼働率(%)	59.71	58.32	55.96	56.92	57.69	$\frac{\text{1日最大配水量(m}^3\text{)}}{\text{配水能力(m}^3\text{)}} \times 100$
配水管使用効率(m ³)	60.98	60.15	59.61	57.62	56.80	$\frac{\text{年間総配水量(m}^3\text{)}}{\text{配水管延長(m)}}$
固定資産使用効率(m ³ /万円)	12.92	12.46	12.17	11.46	10.89	$\frac{\text{年間総配水量(m}^3\text{)}}{\text{有形固定資産(万円)}}$
供給単価(円・銭)	184.39	181.66	164.60	161.29	164.02	$\frac{\text{給水収益(円)}}{\text{年間総有収水量(m}^3\text{)}}$
給水原価(円・銭)	152.19	153.33	149.41	152.80	155.38	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費等(円)}}{\text{年間総有収水量(m}^3\text{)}}$
職員一人当り給水人口(人)	5,096	5,515	5,228	5,397	5,112	$\frac{\text{給水人口(人)}}{\text{損益勘定所属職員(人)}}$
職員一人当り有収水量(m ³)	545,903	591,872	558,269	574,081	539,981	$\frac{\text{年間総有収水量(m}^3\text{)}}{\text{損益勘定所属職員(人)}}$
職員一人当り営業収益(千円)	103,505	110,823	94,337	93,786	89,708	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益(千円)}}{\text{損益勘定所属職員(人)}}$
職員一人当り有形固定資産(万円)	34,163	36,206	34,469	36,512	36,669	$\frac{\text{有形固定資産(万円)}}{\text{職員数(人)}}$

算式(令和4年度)	説明
$\frac{2,046,524,314}{123,663,745}$	この比率が高ければ未払債務が少なく、債務の弁済期間が短いことを示す。
$\frac{53,087,072}{2,833,970,242} \times 100$	この比率が高ければ金利負担が多く企業経営が圧迫されている事を示す。財務の健全性を確保するためには最小の負担にとどめる必要がある。
$\frac{\text{—}}{2,046,524,314} \times 100$	経営悪化の度合いを示し、主たる事業収入に対する単年度欠損金の割合を示すもので、単年度欠損金が生じた場合は早速解消する必要がある。
$\frac{\text{—}}{2,046,524,314} \times 100$	この比率は経営悪化の度合いを示すもので、累積欠損金が生じた場合には早速解消する必要がある。
$\frac{\text{—}}{2,046,524,314} \times 100$	この比率が10%を上回る企業については、現在、地方公営企業の再建措置要領や赤字企業に対する起債制限等の指導が行われる。

算式(令和4年度)	説明
$\frac{35,021}{41,540} \times 100$	この比率が100%に近づくほど施設の稼働状態が良く、水道事業の体質が良いことを意味する。
$\frac{35,021}{72,000} \times 100$	この比率は施設の利用状況の良否を示すもので、この比率が高ければ施設の効率的な利用を意味する。
$\frac{41,540}{72,000} \times 100$	現有施設の配水能力が過大投資か、逆に将来にわたり適正な能力かを判断するもので、100%以上の時は施設が不足し、100%を大きく下回る時は過大施設を有しているといえる。
$\frac{12,782,590}{225,033}$	物質的投下資本(配水管)が、配水量にどれだけ貢献したか投資効率を示す。
$\frac{12,782,590}{1,173,408}$	固定資産に投下された資本の投資効率を示す。
$\frac{2,037,001,469}{12,419,553}$	水1m ³ の販売価格がいくらかを見る指標である。
$\frac{1,929,787,869}{12,419,553}$	水1m ³ の販売するのにいくらを要するかを見る指標である。
$\frac{117,585}{23}$	事業の規模に対する職員数の適否を検討することにより、労働生産性の良否を示す。
$\frac{12,419,553}{23}$	上記比率と同じ意味を持つ。
$\frac{2,063,287}{23}$	〃
$\frac{1,173,408}{32}$	〃

IV 營 業

1. 給 水 収 益

- (1) 給水収益とは
- (2) 給水収益の変遷
- (3) 階層別水道料金調定明細
- (4) 用途別有収水量及び水道料金の調定状況
- (5) 徴収方法別給水収益収納状況

2. 加 入 金

- (1) 加入金とは
- (2) 口径別加入金徴収状況

3. 量 水 器

- (1) 口径別設置数
- (2) 新設量水器取付状況

4. 開・閉栓の受付状況

5. 検 針

- (1) 地区別検針・調定サイクル

6. 使用料金の変せん

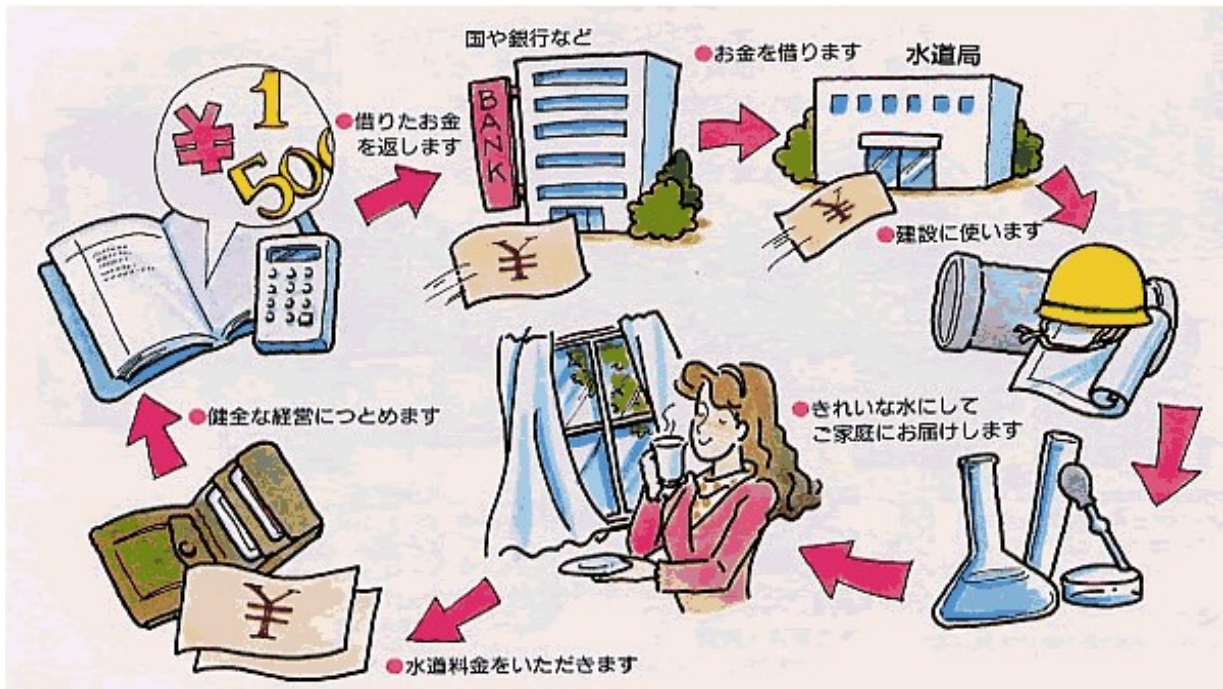
- (1) 水道料金
- (2) メーター使用料金
- (3) 加入金

1. 給水収益

(1) 給水収益とは

水道事業は地方公営企業法という法律によって独立採算制で事業運営をしています。

事業運営に必要な経費には大阪広域水道企業団から水を購入するための費用や、職員の人件費などがあります。また、経費のほかにも市内に布設している水道管のうち、古くから布設している水道管等が老朽化を迎えるため、その維持管理や更新に係る費用などを、使用水量と用途別に応じてお客さまがお支払いになる水道料金により賄っています。



(2) 給水収益の変遷

項目 年度	給水収益 (円)	配水量 (m ³)	有収水量			有収率 (%)	備考
			調定水量 (m ³)	第三者破損水量 (m ³)	計 (m ³)		
30	2,609,090,493	13,678,740	13,101,266	413	13,101,679	95.78	
令和元	2,571,861,930	13,531,160	12,996,688	24,498	13,021,186	96.23	
2	2,324,847,290	13,418,270	12,839,174	1,002	12,840,176	95.69	
3	2,240,701,609	12,972,050	12,629,486	289	12,629,775	97.36	
4	2,223,834,964	12,782,590	12,419,223	330	12,419,553	97.16	

※消費税込み

(3)階層別水道料金調定明細(令和4年度)

		内 訳					一戸当たり平均	
区分 水量 ランク	延給水戸数	構成比	調定水量	構成比	調定金額	構成比	水量	金額
	(戸)	(%)	(m ³)	(%)	(円)	(%)	(m ³)	(円)
0 ～10	303,455	38.9	1,721,369	13.9	299,018,835	13.4	5.7	985.38
11 ～20	319,127	40.9	4,670,948	37.6	571,676,112	25.7	14.6	1,791.37
21 ～30	105,283	13.5	2,557,537	20.6	390,174,285	17.5	24.3	3,705.96
31 ～40	32,331	4.1	1,103,594	8.9	198,237,092	8.9	34.1	6,131.49
41 ～50	8,789	1.1	388,980	3.1	78,678,162	3.5	44.3	8,951.89
51 ～100	5,465	0.7	353,262	2.8	85,043,967	3.8	64.6	15,561.57
101 ～200	1,920	0.2	274,809	2.2	82,610,614	3.7	143.1	43,026.36
201 ～500	1,617	0.2	500,591	4.0	177,848,704	8.0	309.6	109,986.83
501以上	709	0.1	716,439	5.8	287,152,800	12.9	1,010.5	405,011.00
ダスト シュート	72	0.0	344	0.0	59,618	0.0	4.8	828.03
計	778,768	99.8	12,287,873	98.9	2,170,500,189	97.6	15.8	2,787.09
湯屋用	96	0.0	75,645	0.6	8,083,349	0.4	788.0	84,201.55
臨時用	1,823	0.2	55,705	0.4	45,251,426	2.0	30.6	24,822.50
観賞用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.00
合計	780,687	100.0	12,419,223	100.0	2,223,834,964	100.0	15.9	2,848.56

※消費税込み

(4)用途別有収水量及び水道料金の調定状況

※消費税込み

年度 用途別	平成30				令和元			
	水 量 (m ³)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	水 量 (m ³)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
調 定	13,101,266	100.0	2,609,090,493	100.0	12,996,688	100.0	2,571,861,930	100.0
一 般 用	13,004,259	99.3	2,579,346,657	98.9	12,894,890	99.2	2,538,704,901	98.7
家事用	10,952,806	83.6	1,865,061,902	71.5	10,894,081	83.8	1,837,091,720	71.4
家事共用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
営業用	1,335,176	10.2	423,711,618	16.2	1,305,576	10.0	417,602,506	16.2
公共用	369,560	2.8	147,619,565	5.7	355,587	2.7	143,128,536	5.6
工場用	346,717	2.6	142,953,572	5.5	339,646	2.6	140,882,139	5.5
湯屋用	71,387	0.5	7,618,855	0.3	72,585	0.6	7,649,089	0.3
臨時用	25,234	0.2	21,715,445	0.8	28,949	0.2	25,217,908	1.0
観賞用	386	0.0	409,536	0.0	264	0.0	290,032	0.0

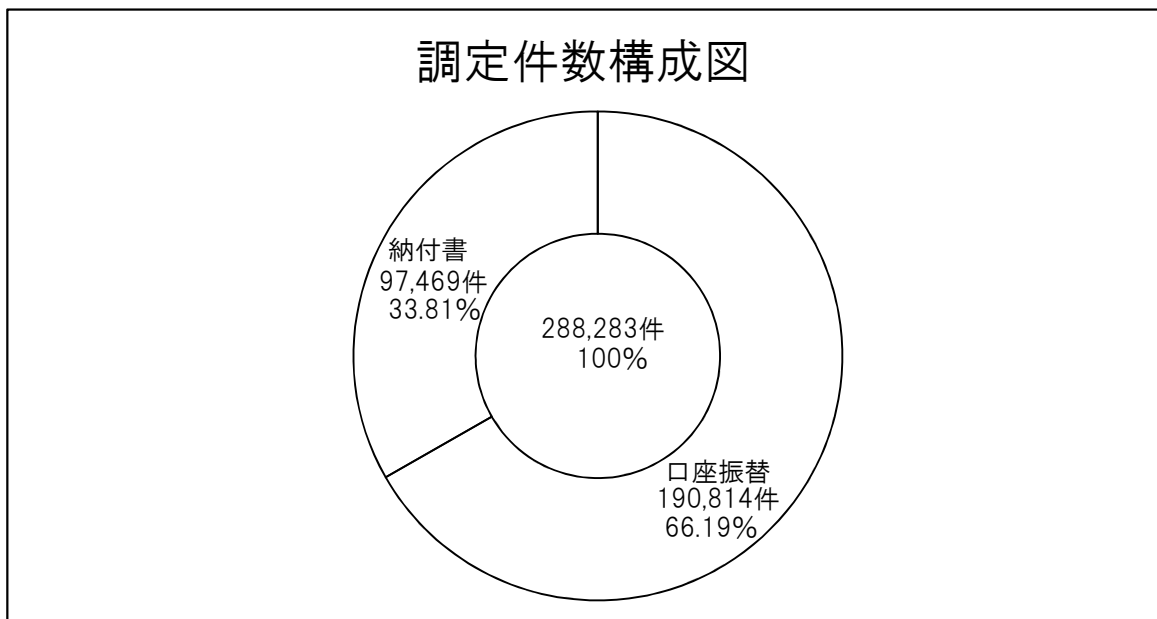
年度 用途別	2				3			
	水 量 (m ³)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	水 量 (m ³)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
調 定	12,839,174	100.0	2,324,847,290	100.0	12,629,486	100.0	2,240,701,609	100.0
一 般 用	12,738,732	99.2	2,291,484,665	98.6	12,525,576	99.2	2,202,513,966	98.3
家事用	11,013,891	85.8	1,713,819,708	73.7	10,824,495	85.7	1,668,858,618	74.5
家事共用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
営業用	1,194,002	9.3	366,932,716	15.8	1,162,282	9.2	334,933,196	14.9
公共用	246,404	1.9	95,043,258	4.1	268,138	2.1	96,632,453	4.3
工場用	284,435	2.2	115,688,983	5.0	270,661	2.1	102,089,699	4.6
湯屋用	68,739	0.5	6,867,373	0.3	67,713	0.5	7,239,737	0.3
臨時用	31,635	0.2	26,420,342	1.1	36,197	0.3	30,947,906	1.4
観賞用	68	0.0	74,910	0.0	0	0.0	0	0.0

年度 用途別	4			
	水 量 (m ³)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)
調 定	12,419,223	100.0	2,223,834,964	100.0
一 般 用	12,287,873	98.9	2,170,500,189	97.6
家事用	10,517,352	84.7	1,612,356,032	72.5
家事共用	0	0.0	0	0.0
営業用	1,195,993	9.6	344,604,286	15.5
公共用	302,593	2.4	110,834,242	5.0
工場用	271,935	2.2	102,705,629	4.6
湯屋用	75,645	0.6	8,083,349	0.4
臨時用	55,705	0.4	45,251,426	2.0
観賞用	0	0.0	0	0.0

(5)徴収方法別給水収益収納状況

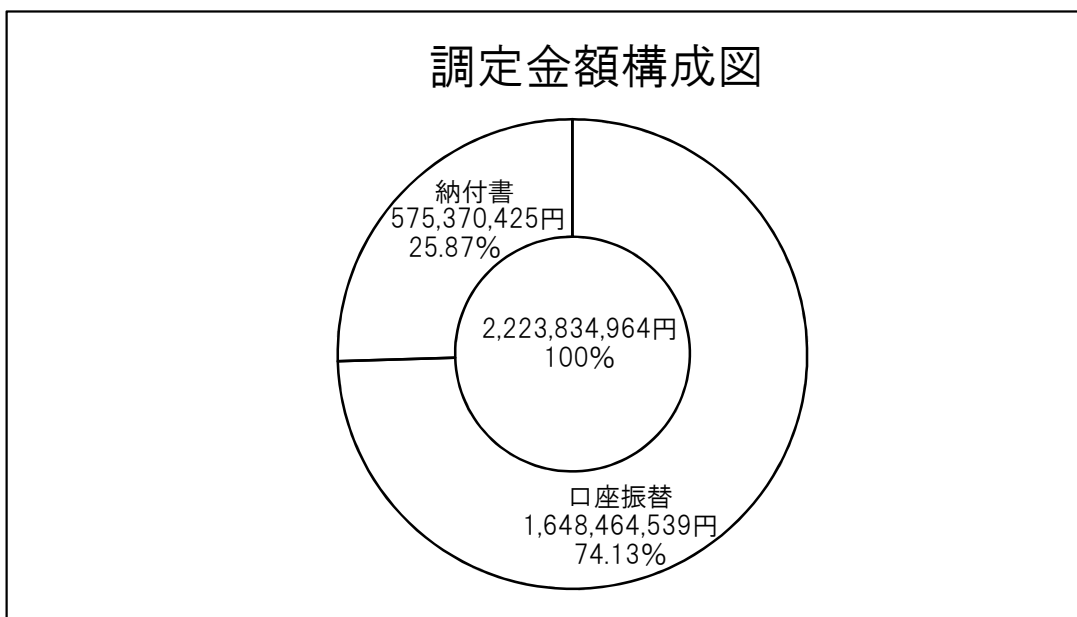
項目	区分	調定		不納欠損		過年度増減額	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
平成30	過年度分	36,843	288,066,115	△ 518	△ 1,784,808	79	△ 1,412,247
	現年度分						
	口座	195,466	1,989,690,035				
	納付	90,673	619,400,458				
	合計	286,139	2,609,090,493				
令和元	過年度分	36,712	275,090,521	△ 484	△ 2,024,811	122	△ 2,117,510
	現年度分						
	口座	193,638	1,955,483,928				
	納付	93,032	616,378,002				
	合計	286,670	2,571,861,930				
2	過年度分	35,836	283,586,510	△ 431	△ 1,732,416	100	△ 570,772
	現年度分						
	口座	192,892	1,745,780,435				
	納付	93,863	579,066,855				
	合計	286,755	2,324,847,290				
3	過年度分	35,087	251,446,499	△ 411	△ 1,660,580	106	△ 394,419
	現年度分						
	口座	191,877	1,669,519,858				
	納付	95,679	571,181,751				
	合計	287,556	2,240,701,609				
4	過年度分	35,609	242,144,223	△ 484	△ 1,596,646	79	△ 560,414
	現年度分						
	口座	190,814	1,648,464,539				
	納付	97,469	575,370,425				
	合計	288,283	2,223,834,964				

(6)徴収方法別構成グラフ(令和4年度)



収 入		未 収		収 納 率	
件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (%)	金額 (%)
34,451	277,498,010	1,953	7,371,050	93.51	96.33
176,438	1,813,425,535	19,028	176,264,500	90.27	91.14
74,942	527,945,487	15,731	91,454,971	82.65	85.23
251,380	2,341,371,022	34,759	267,719,471	87.85	89.74
34,556	264,188,666	1,794	6,759,534	94.13	96.04
174,736	1,770,205,106	18,902	185,278,822	90.24	90.53
77,892	524,829,848	15,140	91,548,154	83.73	85.15
252,628	2,295,034,954	34,042	276,826,976	88.13	89.24
33,759	274,686,924	1,746	6,596,398	94.20	96.86
174,242	1,584,985,992	18,650	160,794,443	90.33	90.79
79,172	495,011,197	14,691	84,055,658	84.35	85.48
253,414	2,079,997,189	33,341	244,850,101	88.37	89.47
32,937	242,216,128	1,845	7,175,372	93.87	96.33
176,807	1,534,093,102	15,070	135,426,756	92.15	91.89
76,985	471,639,656	18,694	99,542,095	80.46	82.57
253,792	2,005,732,758	33,764	234,968,851	88.26	89.51
33,329	231,103,469	1,875	8,883,694	93.60	95.44
172,488	1,502,864,424	18,326	145,600,115	90.40	91.17
81,481	492,734,482	15,988	82,635,943	83.60	85.64
253,969	1,995,598,906	34,314	228,236,058	88.10	89.74

※消費税込み



※消費税込み

2. 加入金

(1) 加入金とは

新規に水道に加入、または改造（増径）する場合に、過去に行った水道施設などの整備に要した経費の一部を負担していただく費用で、新旧利用者間の負担の公平を図るものです。

(2) 口径別加入金徴収状況

(単位:千円)

年度 調定 口径	平成30		令和元		2		3		4	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新設φ20	202	32,202	135	21,822	217	35,805	261	42,350	241	39,270
新設φ25	55	12,798	32	7,281	68	17,200	44	10,340	43	10,945
新設φ30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新設φ40	2	1,404	7	5,294	7	5,860	7	4,895	5	17,105
新設φ50	9	10,446	3	4,127	4	8,195	2	1,760	3	4,125
新設φ65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新設φ75	1	1,134	0	0	0	0	0	0	0	0
新設φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新設φ150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増 径	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他中高層	1	21,708	0	0	154	25,135	0	0	0	0
計	270	79,692	177	38,524	450	92,195	314	59,345	292	71,445

※消費税込み

3. 量水器

(1) 口径別設置数

(単位:個)

口径 (mm) 年度	13	20	25	40	50	75	100	150	200	計
30	9,378	30,582	4,131	867	220	110	20	6	1	45,315
令和元	9,016	30,805	4,170	870	220	107	20	6	1	45,215
2	8,612	31,215	4,224	879	222	102	20	5	1	45,280
3	8,348	31,670	4,292	883	224	103	21	4	1	45,546
4	8,036	32,052	4,337	884	226	102	21	5	1	45,664

(2) 新設量水器取付状況

(単位:個)

口径 (mm) 年度	13	20	25	40	50	75	100	150	200	計
30	108	546	78	8	17	1	0	0	0	758
令和元	135	455	67	17	4	0	0	0	0	678
2	125	647	98	18	6	0	0	0	0	894
3	111	664	98	13	2	2	1	0	0	891
4	92	622	94	12	7	1	0	1	0	829

4. 開・閉栓の受付状況

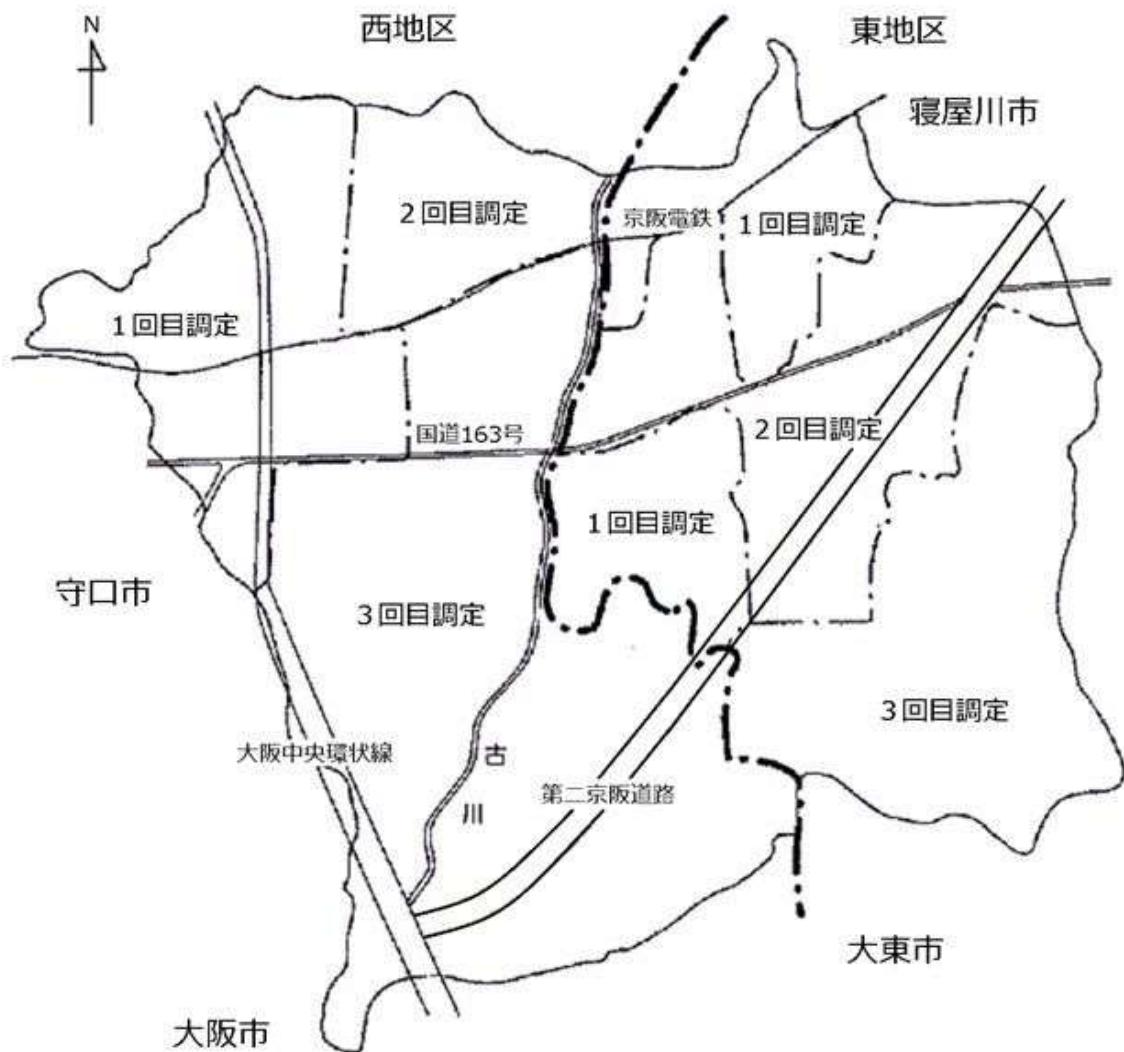
(単位:栓)

種別 年度	開栓	閉栓
30	4,514	4,523
令和元	4,424	4,578
2	4,636	5,224
3	4,973	4,928
4	3,987	4,441

5. 検 針

(1)地区別検針・調定サイクル

区分	地 区		検針日				調定日	
	毎月検針	大口使用者、公衆浴場		毎 月	1日	～	3日	毎 月
市 場		毎 月	28日	～	29日	毎 月	30日	
隔月検針	西地区	1回目 調定地区	偶数月	5日	～	13日	偶数月	14日
		2回目 "	"	14日	～	21日	"	22日
		3回目 "	"	22日	～	29日	"	30日
	東地区	1回目 調定地区	奇数月	5日	～	13日	奇数月	14日
		2回目 "	"	14日	～	21日	"	22日
		3回目 "	"	22日	～	29日	"	30日



6. 使用料金の変せん

(1) 水道料金(※消費税抜き)

改定 区分 用途	昭和40年4月1日			昭和41年4月1日 (改定率45%)			昭和49年4月1日 (改定率58.4%)		
	基本		超過	基本		超過	基本		超過
	水量 (m ³)	料金 (円)	1m ³ 当り (円)	水量 (m ³)	料金 (円)	1m ³ 当り (円)	水量 (m ³)	料金 (円)	1m ³ 当り料金 (円)
家事用 (専用)	8	200	9m ³ 以上 25	8	270	9m ³ 以上 40	10	350	11~20 50
家事用 (共用)	6	150	7m ³ 以上 25	8	250	9m ³ 以上 40			21~30 60
営業用	12	300	13m ³ 以上 25	12	440	13m ³ 以上 40			31~40 70
公共用	15	350	16m ³ 以上 25	15	510	16m ³ 以上 45			41~50 75
工場用	30	750	31m ³ 以上 30	30	1,100	31m ³ 以上 45			51~100 80
							使用水量が200m ³ を超える場合 200m ³ まで1m ³ につき100円 200m ³ を超える分1m ³ につき110円		
湯屋用 公衆 浴場用	200	4,000	201m ³ 以上 23	200	6,000	201m ³ 以上 38	200	6,600	201m ³ 以上 42
臨時用	—	—	1m ³ 25~ 50	—	—	1m ³ 50~ 80	臨時用	—	1m ³ 100~ 150
観賞用	5	150	6m ³ 以上 30	5	500	6m ³ 以上 150	観賞用	—	1m ³ 280

昭和51年10月1日 (改定率 39.29%)			昭和53年4月1日 (改定率 26.9%)			昭和60年1月1日 (改定率 26.81%)			平成5年12月1日 (改定率 35.25%)		
基本		超過	基本		超過	基本		超過	基本		超過
水量	料金	1m ³ 当り料金	水量	料金	1m ³ 当り料金	水量	料金	1m ³ 当り料金	水量	料金	1m ³ 当り料金
(m ³)	(円)	(m ³)(円)	(m ³)	(円)	(m ³)(円)	(m ³)	(円)	(m ³)(円)	(m ³)	(円)	(m ³)(円)
10	470	11~20 70	10	570	11~20 90	10	740	11~20 110	10	1,000	11~20 150
		21~30 85			21~30 110			21~30 135			21~30 185
		31~40 100			31~40 130			31~40 160			31~40 215
		41~50 105			41~50 140			41~50 180			41~50 245
		51~100 115			51~100 150			51~100 200			51~100 270
		101~200 135			101~200 175			101~200 230			101~200 310
		201~500 160			201~500 205			201~500 265			201~500 355
		501~1,000 165			501~1,000 1,000			501以上 270			501以上 360
		1,001以上 175			1,001以上 215						
		400			17,500			401~500 一律 2,500			400
501~600 一律 4,000	601~700 一律 4,000										
<p>使用水量が700m³を超える場合、700m³までの分1m³につき40円、700m³を超え800m³までの分1m³につき42円、800m³を超える分1m³について49円。</p>											
5	1,100	6以上 220	5	1,500	6以上 300	5	1,800	6以上 380	5	2,500	6以上 520
5	2,000	6以上 400	5	2,800	6以上 560	5	2,800	6以上 560	5	3,800	6以上 765

	平成12年10月1日 (改定率 8.2%)			平成14年4月1日 (改定率 8.46%)			平成22年10月1日 (改定率△2.14%)		
	基 本		超 過	基 本		超 過	基 本		超 過
	水量	料 金	1m ³ 当り料金	水量	料 金	1m ³ 当り料金	水量	料 金	1m ³ 当り料金
一 般 用	(m ³)	(円)	(m ³)(円)	(m ³)	(円)	(m ³)(円)	(m ³)	(円)	(m ³)(円)
			11~20			11~20			11~20
			160			174			174
			21~30			21~30			21~30
			210			229			229
			31~40			31~40			31~40
			241			263			263
			41~50			41~50			41~50
			272			297			297
			51~100			51~100			51~100
298	325	325							
101~200	101~200	101~200							
343	375	375							
201~500	201~500	201~500							
389	417	417							
501以上	501以上	501以上							
394	422	422							
湯屋用(公衆浴場用)	400	36,500	401以上 110	400	36,500	401以上 110	400	33,900	401以上 110
臨時用	5	3,500	6以上 600	5	3,900	6以上 670	5	3,900	6以上 670
観賞用	5	4,500	6以上 850	5	5,000	6以上 950	5	5,000	6以上 950

	平成30年10月1日 (改定率△1.90%)			令和3年1月1日 (改定率△9.10%)							
	基 本		超 過	基 本		超 過					
	水量 (m ³)	料 金 (円)	1m ³ 当り料金 (m ³)(円)	水量 (m ³)	料 金 (円)	1m ³ 当り料金 (m ³)(円)					
一 般 用	10	984	11~20 174	10	896	11~20 158					
			21~30 229			21~30 208					
			31~40 263			31~40 239					
			41~50 297			41~50 270					
			51~100 325			51~100 296					
			101~200 375			101~200 341					
			201~500 417			201~500 379					
			501以上 422			501以上 384					
			湯 屋 用 (公 衆 浴 場 用)			400	32,074	401以上 110	400	32,074	401以上 110
			臨 時 用			5	3,900	6以上 670	5	3,900	6以上 670
観 賞 用	5	5,000	6以上 950	5	5,000	6以上 950					

(2)メーター使用料金(※消費税抜き)

口径 改定	昭和49年4月1日	昭和51年10月1日	昭和60年1月1日	平成22年10月1日に廃止
	(円)	(円)	(円)	
(mm) 13	30	50	50	
20	45	90		
25	50	110	110	
40	140	210	210	
50	320	1,100	1,100	
75	460	1,300	1,300	
100	560	1,700	1,700	
150	950	3,600	3,600	
200	-	4,700	4,700	

(3)加入金(※消費税抜き)

口径 改定	分担金	加入金	加入金	加入金
	昭和46年4月1日	昭和49年4月1日	昭和51年10月1日	平成5年12月1日
(mm)	(円)	(円)	(円)	(円)
13	20,000	30,000	20mm以下 90,000	20mm以下 150,000
20	45,000	60,000		
25	70,000	100,000	150,000	250,000
30	160,000	220,000	250,000	400,000
40	300,000	420,000	500,000	800,000
50	580,000	720,000	830,000	1,400,000
65	-	-	1,620,000	2,700,000
75	1,600,000	2,100,000	2,340,000	3,800,000
100	3,300,000	4,350,000	4,860,000	8,000,000
150	9,000,000	12,400,000	13,400,000	22,000,000
200以上	管理者が別に定める額	左に同じ	左に同じ	左に同じ

V 給水工事

1. 給水工事の実施状況
2. 修繕
 - (1) 修繕工事処理状況
 - (2) 量水器取替数
3. 漏水調査
 - (1) 漏水調査の実施状況
 - (2) 漏水箇所の内訳

1. 給水工事の実施状況

(単位: 件)

種別	年度				
	平成30	令和元	2	3	4
新設工事	513	449	582	683	583
臨時給水工事	187	220	223	228	206
増径増設工事	11	0	0	0	0
舗装先行工事	40	51	53	51	62
改造工事	31	24	24	27	34
計	782	744	882	989	885



2. 修 繕

(1)修繕工事処理状況

(単位:件)

年度 修繕内訳		平成30	令和元	2	3	4
		有償	業者破損工事	86	100	46
	業者移設工事	3	4	2	3	0
	給水栓取替	10	12	2	0	0
	ケレップ取替	33	25	0	0	0
	給水管修理	9	0	0	0	0
	出水不良工事	0	0	1	0	0
	寒波の修理	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	5	2
	小計	141	141	52	64	57
無償	伸縮止水栓取替	23	28	61	73	84
	メーター付近修理	94	87	45	57	74
	路上漏水修理	111	111	89	82	96
	弁栓枠上工事	3	3	5	1	5
	出水不良工事	21	17	27	65	29
	赤水処理	5	12	9	6	7
	給水管修理	244	268	306	314	259
	寒波の修理	0	0	43	0	19
	その他	996	903	756	744	652
	小計	1,497	1,429	1,341	1,342	1,225
合計		1,638	1,570	1,393	1,406	1,282
修繕工事収益(円)		1,960,152	2,122,230	1,175,175	1,399,788	1,261,404

※消費税込み

(2)量水器取替数(令和4年度)

(単位:件)

口径 区分	13	20	25	40	50	75	100	150	200	計
回転不良取替	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
検定満期取替	799	3,803	527	115	31	17	4	2	0	5,298
増径工事取替	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
計	800	3,809	527	115	31	17	4	2	0	5,305



3. 漏水調査

(1)漏水調査の実施状況(※委託料税込)

項目	単位	年度				
		S48~57	S58~H4	H5~14	H15~24	H25~30
工区		1~5工区集計	1~5工区集計	古川より西、東地区集計	古川より西、東地区集計	古川より西、東地区集計
調査距離	(km)	340	408	416	789	677
漏水個所数	(個所)	362	641	740	754	506
推定漏水量	(m ³ /H)	143.4	70.85	70.61	64.50	39
委託料	(千円)	18,870	18,844	26,342	50,254	62,412
有収率	(%)	(S57年度) 89.3	(H4年度) 92.67	(H14年度) 95.71	(H24年度) 94.85	(H30年度) 95.78

項目	単位	年度				S48~R4 合計
		R1	R2	R3	R4	
工区		古川より東地区	古川より西地区	古川より東地区	古川より西地区	
調査距離	(km)	139	92	140	92	3,093
漏水個所数	(個所)	81	48	68	41	3,241
推定漏水量	(m ³ /H)	6	9	6	12	421.27
委託料	(千円)	14,740	10,560	15,510	11,440	228,972
有収率	(%)	(R1年度) 96.23	(R2年度) 95.69	(R3年度) 97.36	(R4年度) 97.16	

(2)漏水個所の内訳

(単位:件)

漏水個所	年度 工区	S48~57	S58~H4	H5~14	H15~24	H25~30
		1~5工区集計	1~5工区集計	1~5工区集計	1~5工区集(※1)	古川より西、東地区(※2)
配水管 100mm 以上		7	16	4	5	1
給水管 75mm 以下		99	106	109	116	51
メーター 前後		129	297	293	167	153
止水栓メーターボックス含む		101	178	215	350	238
宅地内		8	22	68	85	57
残管		1	3	1	0	0
分水栓		1	1	2	12	0
ドレン		16	17	20	12	5
その他		0	1	28	7	1
合計		362	641	740	754	506

漏水個所	年度 工区	R1	R2	R3	R4	S48~R4 合計
		古川より東地区	古川より西地区	古川より東地区	古川より西地区	
配水管 100mm 以上		0	0	0	0	33
給水管 75mm 以下		4	1	7	6	499
メーター 前後		24	3	13	6	1,085
止水栓メーターボックス含む		37	33	36	15	1,203
宅地内		12	9	9	12	282
残管		0	0	0	0	5
分水栓		0	0	0	0	16
ドレン		4	1	2	2	79
その他		0	1	1	0	39
合計		81	48	68	41	3,241

※1 平成20年度より、古川を境にして東西の地区にて調査を行う。

※2 H29年度より、漏水危険管路のみ門真市内全域にて調査を行う。

VI 受水・配水

1. 受水量・配水量の推移

- (1) 配水系統別配水量の内訳
- (2) 受・配水量
- (3) 人口及び配水量曲線図表

2. 配水量の状況

- (1) 配水量の内訳

3. 動力

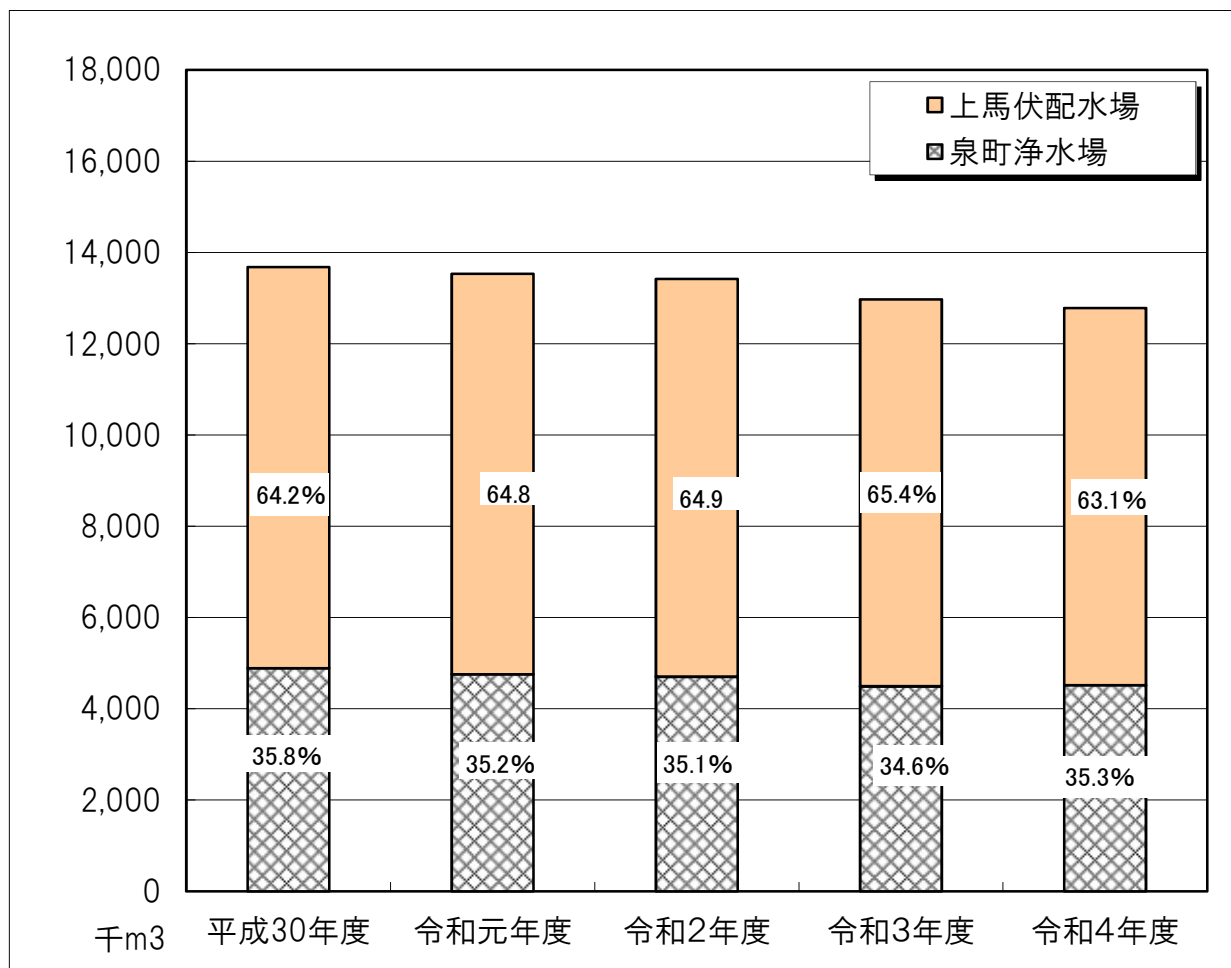
- (1) 電力使用状況
- (2) 電力使用料金

4. 薬品

- (1) 薬品使用量

1. 受水量・配水量の推移

(1) 配水系統別配水量の内訳

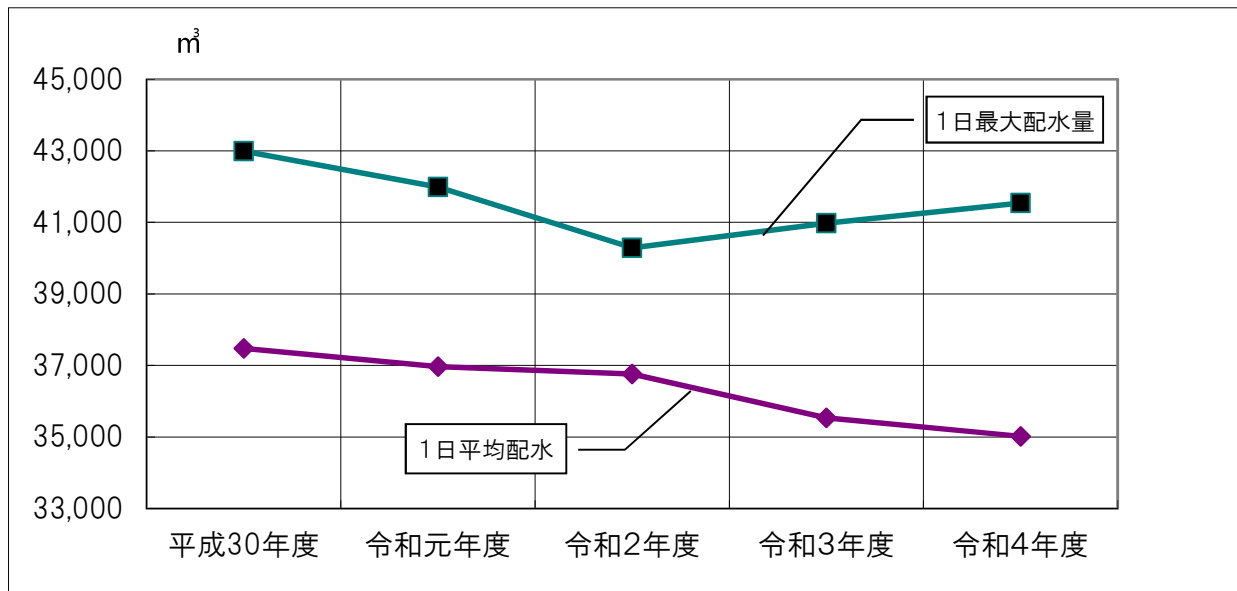
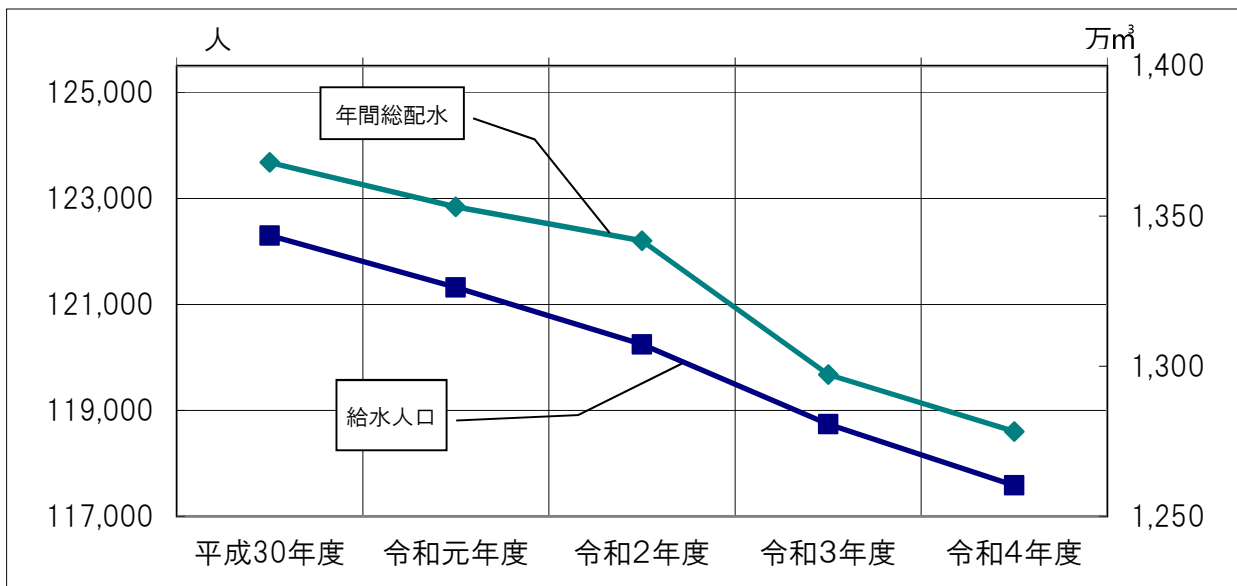


(2) 受・配水量

(単位：m³)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
受水	三番分岐(企業団庭窪系2号受水)	2,194,110	2,390,920	2,356,150	2,308,880	2,381,120
	三番分岐(企業団庭窪系1号受水)	2,760,720	2,429,520	2,409,480	2,243,700	2,194,330
	上馬伏分岐(企業団村野系浄水)	8,883,010	8,852,870	8,790,530	8,555,550	8,344,760
	総受水量	13,837,840	13,673,310	13,556,160	13,108,130	12,920,210
配水	泉町浄水場	4,890,470	4,757,900	4,703,690	4,493,320	4,515,990
	上馬伏配水場	8,788,270	8,773,260	8,714,580	8,478,730	8,266,600
	総配水量	13,678,740	13,531,160	13,418,270	12,972,050	12,782,590

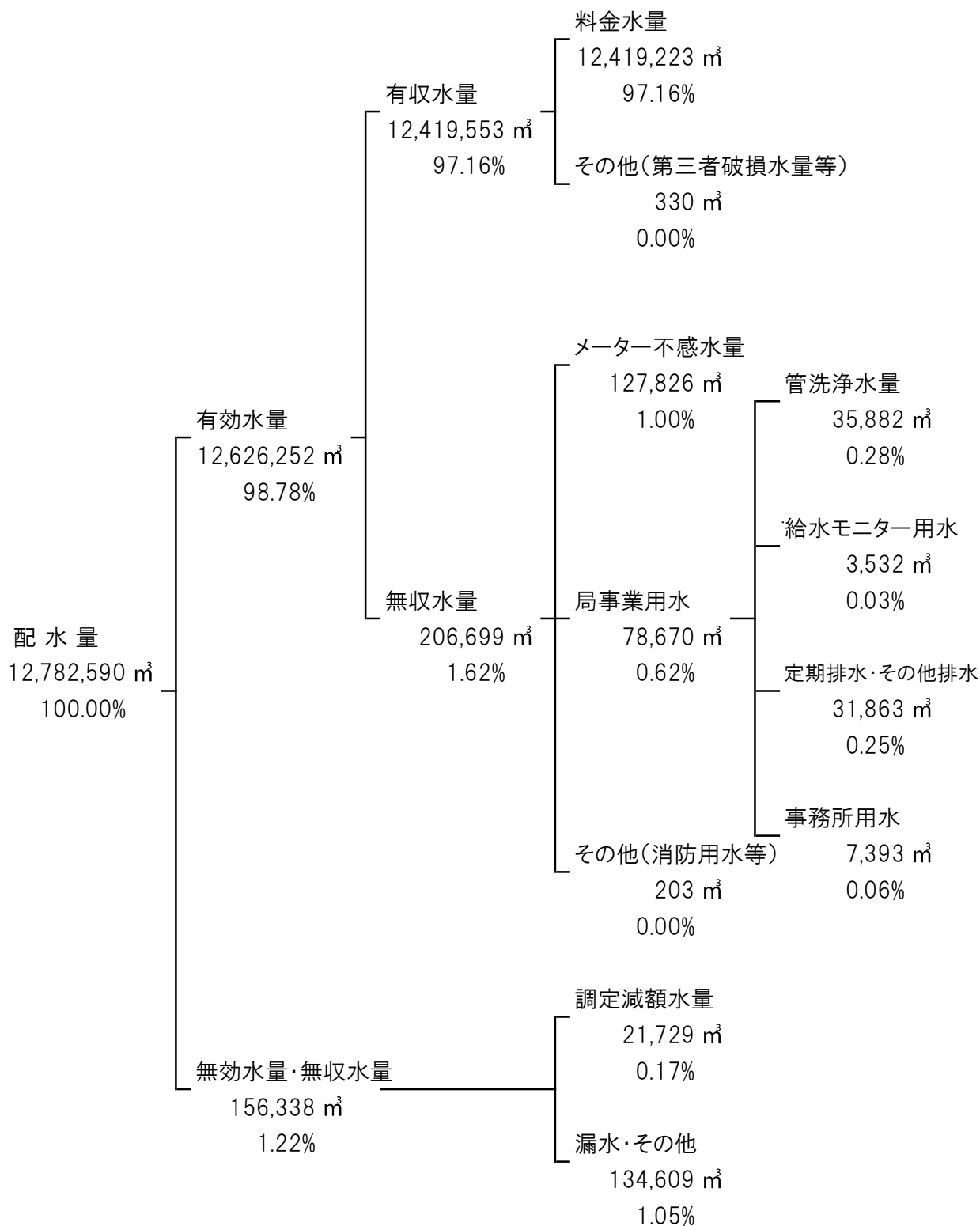
(3)人口及び配水量曲線図表



年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
行政区域内人口	人	122,299	121,321	120,247	118,742	117,585
給水人口	人	122,299	121,321	120,247	118,742	117,584
公称施設能力	m³/日	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
1日最大配水量	m³/日	42,990	41,990	40,290	40,980	41,540
同上月・日・曜日		4月19日(木)	4月18日(木)	4月22日(水)	4月19日(月)	4月20日(水)
1人1日最大配水量	ℓ	352	346	335	345	353
1日平均配水量	m³	37,476	36,970	36,762	35,540	35,021
1人1日平均配水量	ℓ	306	305	306	299	298
年間総受水量	m³	13,837,840	13,673,310	13,556,160	13,108,130	12,920,210
年間総配水量	m³	13,678,740	13,531,160	13,418,270	12,972,050	12,782,590

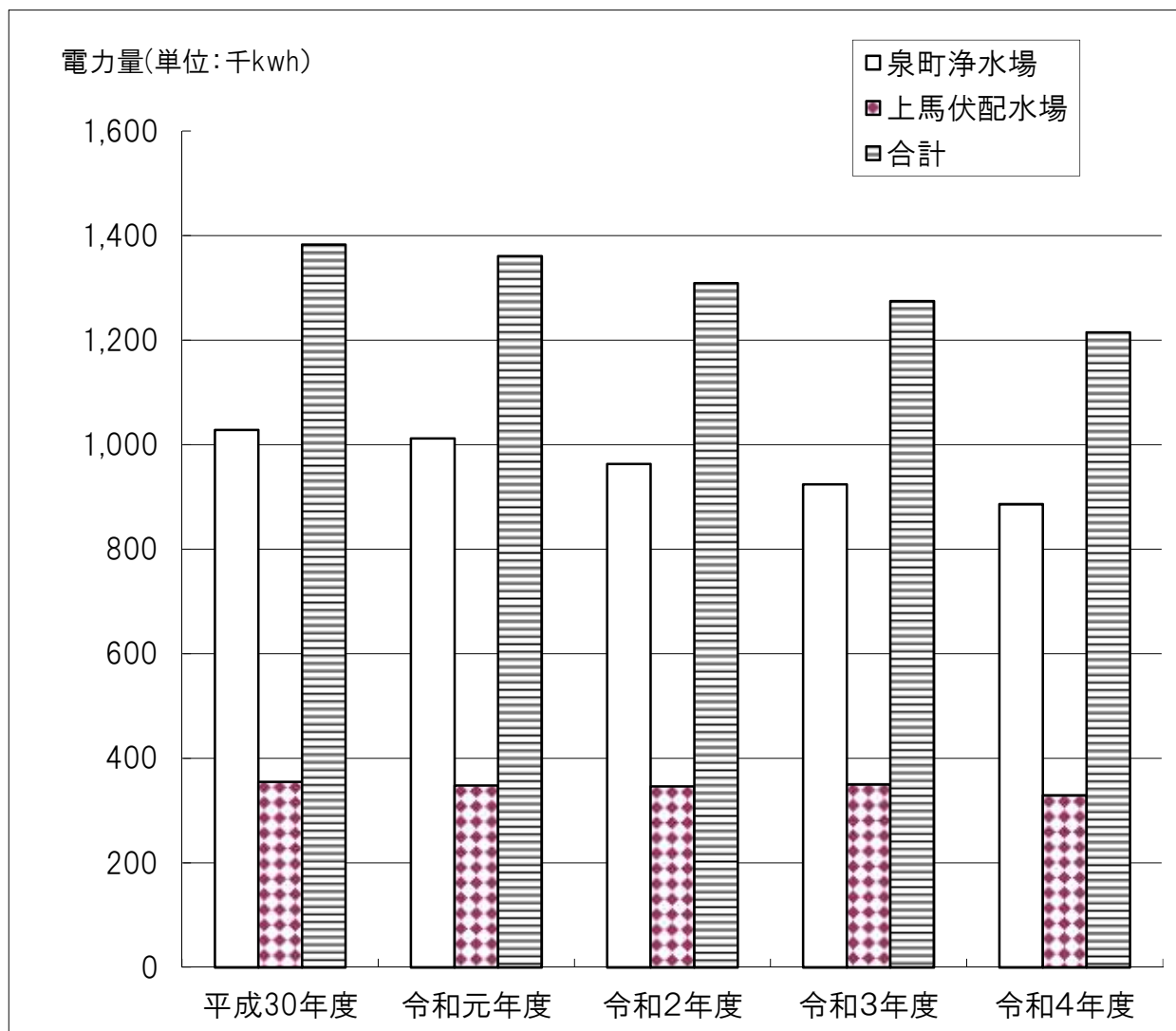
2. 配水量の状況

(1) 配水量の内訳(令和4年度)



3. 動 力

(1) 電力使用状況



(単位:kwh)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
泉町浄水場	1,027,805	1,012,138	963,336	924,153	886,128
上馬伏配水場	354,656	348,497	345,540	350,274	328,784
合計	1,382,461	1,360,635	1,308,876	1,274,427	1,214,912

(2) 電力使用料金

(単位:円)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
泉町浄水場	21,060,018	20,386,331	18,472,079	18,924,754	23,201,713
上馬伏配水場	7,967,723	7,854,853	7,540,582	8,043,196	9,598,366
合計	29,027,741	28,241,184	26,012,661	26,967,950	32,800,079

※消費税込み

4.薬 品

(1)薬品使用量

項 目		年 度	平成30	令和元	2	3	4
泉 町 浄 水 場	次 亜 塩 素 酸 ナ トリ ウム 生成	並塩使用量 (kg)	155.4	209.9	343.4	325.8	246.0
		NaClO(生成) (L)	5,181.0	6,995.0	11,447.0	10,859.0	8,201.0
		同塩素換算量 (kg)	34.2	50.7	98.9	97.8	69.2
上 馬 伏 配 水 場	次 亜 塩 素 酸 ナ トリ ウム 生成	並塩使用量 (kg)	344.9	374.0	392.1	375.1	410.2
		NaClO(生成) (L)	11,498.0	12,466.0	13,070.0	12,504.0	13,673.0
		同塩素換算量 (kg)	99.2	118.9	124.3	118.2	123.7
		塩素換算量合計 (kg)	133.5	169.6	223.2	216.0	192.9

VII 水 質

1. 水道水の水質基準

(1) 基準項目(水道法に基づく水質基準)

2. 水質試験項目

(1) 浄水場関係試料の試験項目

(2) 市内給水栓水の試験項目

3. 水質試験成績

1. 水道水の水質基準

(1) 基準項目(水道法に基づく水質基準)

	項目名	基準値	検査方法
1	一般細菌	1mlの検水で形成される集落数が100以下	標準寒天培地法
2	大腸菌	検出されないこと。	特定酵素基質培地法
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/l以下	還元気化-原子吸光光度法(寝屋川市・門真市共同検査)
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/l以下	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法(寝屋川市・門真市共同検査)
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/l以下	誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法(寝屋川市・門真市共同検査)
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.02mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/l以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法(寝屋川市・門真市共同検査)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
12	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/l以下	
13	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
14	四塩化炭素	0.002mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法(寝屋川市・門真市共同検査)
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	
16	シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	
17	ジクロロメタン	0.02mg/l以下	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	
20	ベンゼン	0.01mg/l以下	
21	塩素酸	0.6mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斉分析法
22	クロロ酢酸	0.02mg/l以下	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法による一斉分析法(寝屋川市・門真市共同検査)
23	クロロホルム	0.06mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法(寝屋川市・門真市共同検査)

24	ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
26	臭素酸	0.01mg/l以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法
27	総トリハロメタン	0.1mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
29	プロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
30	プロモホルム	0.09mg/l以下	ヘッドスペース-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法（寝屋川市・門真市共同検査）
32	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
33	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/l以下	
34	鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/l以下	
35	銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/l以下	
36	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/l以下	イオンクロマトグラフ（陽イオン）による一斉分析法
37	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/l以下	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
38	塩化物イオン	200mg/l以下	イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析法
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	イオンクロマトグラフ（陽イオン）による一斉分析法
40	蒸発残留物	500mg/l以下	重量法
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法（市町村水道水質共同検査）
42	ジェオスミン	0.00001mg/l以下	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析法（市町村水道水質共同検査）
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法（市町村水道水質共同検査）
45	フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/l以下	固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法（市町村水道水質共同検査）
46	有機物(全有機炭素TOCの量)	3mg/l以下	全有機炭素計測定法
47	pH値	5.8以上8.6以下	ガラス電極法
48	味	異常でないこと。	官能法
49	臭気	異常でないこと。	官能法
50	色度	5度以下	透過光測定法
51	濁度	2度以下	積分球式光電光度法

2. 水質試験項目

(1) 浄水場関係試料の試験項目

試験	試験項目
日常試験	気温、水温、濁度、色度、臭気、味、pH値、 電気伝導率、遊離残留塩素、残留塩素
定期試験	日常試験項目のほかに、一般細菌、大腸菌、カドミウム及びその化合物、 鉛及びその化合物、六価クロム化合物、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、 フッ素及びその化合物、ホウ素及びその化合物、塩素酸、亜鉛及びその化合物、 アルミニウム及びその化合物、鉄及びその化合物、銅及びその化合物、 ナトリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化物イオン、 カルシウム、マグネシウム等(硬度)、蒸発残留物、有機物(全有機炭素(TOC)の量)、アルカリ度、 ※水銀及びその化合物、※セレン及びその化合物、※ヒ素及びその化合物、 ※シアン化物イオン及び塩化シアン、※四塩化炭素、※1,4-ジオキサン、 ※シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン、※ジクロロメタン、 ※テトラクロロエチレン、※トリクロロエチレン、※ベンゼン、※クロロ酢酸、※クロロホルム、 ※ジクロロ酢酸、※ジブロモクロロメタン、※臭素酸、※総トリハロメタン、※トリクロロ酢酸、 ※プロモジクロロメタン、※プロモホルム、※ホルムアルデヒド、 *陰イオン界面活性剤、*ジェオスミン、*2-メチルイソボルネオール、 *非イオン界面活性剤、*フェノール類

※寝屋川市・門真市共同検査で実施

* 大阪府市町村水道水質共同検査で実施

(2) 市内給水栓水の試験項目

試験	試験項目
日常試験	(水質遠隔監視測定)濁度、色度、pH値、遊離残留塩素、電気伝導率
定期試験	浄・配水場関係の項目に同じ



3. 水質試験成績

項目	項目 (mg/l)	泉町浄水場 供給水				殿島町			
		回数	最高	最低	平均	回数	最高	最低	平均
水質基準項目	1 一般細菌	12	0	0	0	12	0	0	0
	2 大腸菌	12			(-)	12			(-)
	3 カドミウム及びその化合物	4	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	4	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
	4 水銀及びその化合物	1	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	1	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
	5 セレン及びその化合物	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	6 鉛及びその化合物	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	7 ヒ素及びその化合物	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	8 六価クロム化合物	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	9 亜硝酸態窒素	12	0.004未満	0.004未満	0.004未満	12	0.004未満	0.004未満	0.004未満
	10 シアン化物及び塩化シアン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	12	1.15	0.69	0.94	12	1.12	0.55	0.92
	12 フッ素及びその化合物	12	0.14	0.08未満	0.11	12	0.15	0.08未満	0.11
	13 ホウ素及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	14 四塩化炭素	4	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	4	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
	15 1,4-ジオキサン	4	0.005未満	0.005未満	0.005未満	4	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	4	0.004未満	0.004未満	0.004未満	4	0.004未満	0.004未満	0.004未満
	17 ジクロロメタン	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	18 テトラクロロエチレン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	19 トリクロロエチレン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	20 ベンゼン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満
	21 塩素酸	12	0.13	0.06未満	0.08	12	0.13	0.06未満	0.09
	22 クロロ酢酸	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満
	23 クロロホルム	4	0.003	0.001未満	0.002	4	0.004	0.001未満	0.002
	24 ジクロロ酢酸	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満
	25 シクロモクロメタン	4	0.004	0.003	0.004	4	0.005	0.003	0.004
	26 臭素酸	4	0.003	0.001未満	0.002	4	0.002	0.001未満	0.002
	27 総トリハロメタン	4	0.012	0.006	0.009	4	0.016	0.006	0.011
	28 トリクロロ酢酸	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満
	29 フロモシクロメタン	4	0.004	0.002	0.003	4	0.006	0.002	0.004
	30 ブロモホルム	4	0.001	0.001未満	0.001未満	4	0.001	0.001未満	0.001未満
	31 ホルムアルデヒド	4	0.008未満	0.008未満	0.008未満	4	0.018未満	0.008未満	0.008未満
32 亜鉛及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
33 アルミニウム及びその化合物	4	0.02未満	0.02未満	0.02未満	4	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
34 鉄及びその化合物	12	0.03未満	0.03未満	0.03未満	12	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
35 銅及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
36 ナトリウム及びその化合物	12	15.3	9.6	12.6	12	15.4	9.5	12.4	
37 マンガン及びその化合物	12	0.005未満	0.005未満	0.005未満	12	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
38 塩化物イオン	12	21.5	15.1	18.4	12	24.3	16.1	19.9	
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	12	46	35	41	12	46	36	41	
40 蒸発残留物	4	114	77	94	4	101	82	94	
41 陰イオン界面活性剤	1	0.02未満	0.02未満	0.02未満	1	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
42 ジェオスミン	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	
43 2-メチルイソホルネオール	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	
44 非イオン界面活性剤	1	0.002未満	0.002未満	0.002未満	1	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
45 フェノール類	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	12	0.9	0.7	0.8	12	0.9	0.7	0.8	
47 pH値	365	7.5	7.0	7.2	365	7.5	6.8	7.2	
48 味	365			異常なし	12			異常なし	
49 臭	365			異常なし	12			異常なし	
50 色度	365	0.5未満	0.5未満	0.5未満	365	0.5未満	0.5未満	0.5未満	
51 濁度	365	0.2未満	0.2未満	0.2未満	365	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
基礎的項目	気温	365	38.5	1.5	19.5	12	31.0	7.0	19.3
	水温	365	31.2	7.1	19.0	12	31.4	9.7	20.4
	遊離残留塩素	365	0.84	0.47	0.66	365	0.67	0.31	0.55
	残留塩素	365	0.87	0.51	0.70	12	0.70	0.52	0.61
	電気伝導率	365	196	116	161	365	186	116	159
	アルカリ度	12	38.6	30.9	34.8	12	37.5	30.6	34.6

項目 (mg/l)	上馬伏配水場 供給水				三ツ島				
	回数	最高	最低	平均	回数	最高	最低	平均	
1 一般細菌	12	0	0	0	12	0	0	0	
2 大腸菌	12			(-)	12			(-)	
3 カドミウム及びその化合物	4	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	4	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	
4 水銀及びその化合物	1	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	1	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	
5 セレン及びその化合物	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
6 鉛及びその化合物	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
7 ヒ素及びその化合物	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
8 六価クロム化合物	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
9 亜硝酸態窒素	12	0.004未満	0.004未満	0.004未満	12	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
10 シアン化物及び塩化シアン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	12	1.12	0.66	0.91	12	1.11	0.60	0.90	
12 フッ素及びその化合物	12	0.13	0.08未満	0.10	12	0.13	0.08未満	0.10	
13 ホウ素及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
14 四塩化炭素	4	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	4	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	
15 1,4-ジオキサン	4	0.005未満	0.005未満	0.005未満	4	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	4	0.004未満	0.004未満	0.004未満	4	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
17 ジクロロメタン	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
18 テトラクロロエチレン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
19 トリクロロエチレン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
20 ベンゼン	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	4	0.001未満	0.001未満	0.001未満	
21 塩素酸	12	0.13	0.06未満	0.08	12	0.14	0.06未満	0.09	
22 クロロ酢酸	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	4	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
23 クロロホルム	4	0.008	0.001未満	0.003	4	0.010	0.001未満	0.004	
24 ジクロロ酢酸	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	
25 シンクロクロロメタン	4	0.003	0.001	0.002	4	0.005	0.003	0.004	
26 臭素酸	4	0.003	0.001未満	0.002	4	0.002	0.001未満	0.001	
27 総トリハロメタン	4	0.017	0.003	0.008	4	0.022	0.005	0.013	
28 トリクロロ酢酸	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	4	0.003未満	0.003未満	0.003未満	
29 フロモシンクロロメタン	4	0.005	0.001未満	0.003	4	0.007	0.002	0.004	
30 ブロモホルム	4	0.001	0.001未満	0.001未満	4	0.001	0.001未満	0.001未満	
31 ホルムアルデヒド	4	0.008未満	0.008未満	0.008未満	4	0.008未満	0.008未満	0.008未満	
32 亜鉛及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
33 アルミニウム及びその化合物	4	0.02未満	0.02未満	0.02未満	4	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
34 鉄及びその化合物	12	0.03未満	0.03未満	0.03未満	12	0.03未満	0.03未満	0.03未満	
35 銅及びその化合物	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	4	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
36 ナトリウム及びその化合物	12	16.6	11.6	14.9	12	16.1	11.0	14.5	
37 マンガン及びその化合物	12	0.015未満	0.005未満	0.005未満	12	0.015未満	0.005未満	0.005未満	
38 塩化物イオン	12	23.4	17.3	20.4	12	24.3	18.1	21.2	
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	12	46	36	42	12	47	36	42	
40 蒸発残留物	4	118	95	104	4	114	94	103	
41 陰イオン界面活性剤	1	0.02未満	0.02未満	0.02未満	1	0.02未満	0.02未満	0.02未満	
42 ジェオスミン	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	
43 2-メチルイソホルネオール	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	1	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	
44 非イオン界面活性剤	1	0.002未満	0.002未満	0.002未満	1	0.002未満	0.002未満	0.002未満	
45 フェノール類	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	12	0.8	0.6	0.7	12	0.8	0.6	0.7	
47 pH値	365	7.2	7.0	7.1	365	7.7	6.9	7.2	
48 味	365			異常なし	12			異常なし	
49 臭	365			異常なし	12			異常なし	
50 色度	365	0.6	0.5未満	0.5未満	365	0.5未満	0.5未満	0.5未満	
51 濁度	365	0.2未満	0.2未満	0.2未満	365	0.2未満	0.2未満	0.2未満	
基礎的項目	気温	243	37.0	1.0	18.9	12	31.5	7.5	19.8
	水温	243	31.8	7.5	19.5	12	30.7	12.0	21.0
	遊離残留塩素	365	0.83	0.51	0.70	365	0.67	0.41	0.55
	残留塩素	243	0.87	0.59	0.75	12	0.68	0.45	0.58
	電気伝導率	365	194	128	171	365	197	134	171
アルカリ度	12	35.8	29.1	32.5	12	35.8	29.7	33.1	

